

〈 乳児一般健康診査の部 〉



I 一般健診の部

1 実施状況

沖縄県内40市町村で、平成29年4月1日から平成30年3月31日までに、延べ28,765人が乳児一般健康診査を受診した。

乳児一般健康診査の実施体制としては、町村が土曜日（午後）の半日で年に4～8回の実施、市は主に日曜日に対象を乳児前期・後期に分ける方法で月に1～3回の実施となっている。

小規模離島町村の健康診査は乳幼児健診として年2回の実施もあり、健診日の設定により受診月齢が1か月～2か月児や12か月以降になることもある。

報告書の乳児対象者数とは、市町村から乳児期に2回の健診通知がされた合計数である。市町村は未受診児対策として、再通知等を行ない受診勧奨しているところも多い。

受診月齢12か月以上及び県外からの里帰り等による受診児173人は、対象から除き28,592人について集計した。

対象外児内訳

圏域	市町村別内訳						計
北部	国頭村(6)	大宜味村(2)	今帰仁村(1)	本部町(2)	名護市(6)	伊是名村(3)	173人
中部	恩納村(1)	宜野座村(6)	金武町(14)	沖縄市(13)	読谷村(8)		
	嘉手納町(9)	北谷町(19)	北中城村(2)	中城村(1)	宜野湾市(21)		
那覇 南部	那覇市(15)	浦添市(5)	豊見城市(17)	糸満市(12)	八重瀬町(1)		
	南大東村(4)	北大東村(1)					
宮古	宮古島市(3)						
八重山	石垣市(1)						

注) 南城市は受託外

(参照) 統計資料 No. 3 参考資料 No. 2

注) () は対象外児の人数

2 受診状況

乳児一般健康診査受診状況 (回数・月齢別)

単位：人

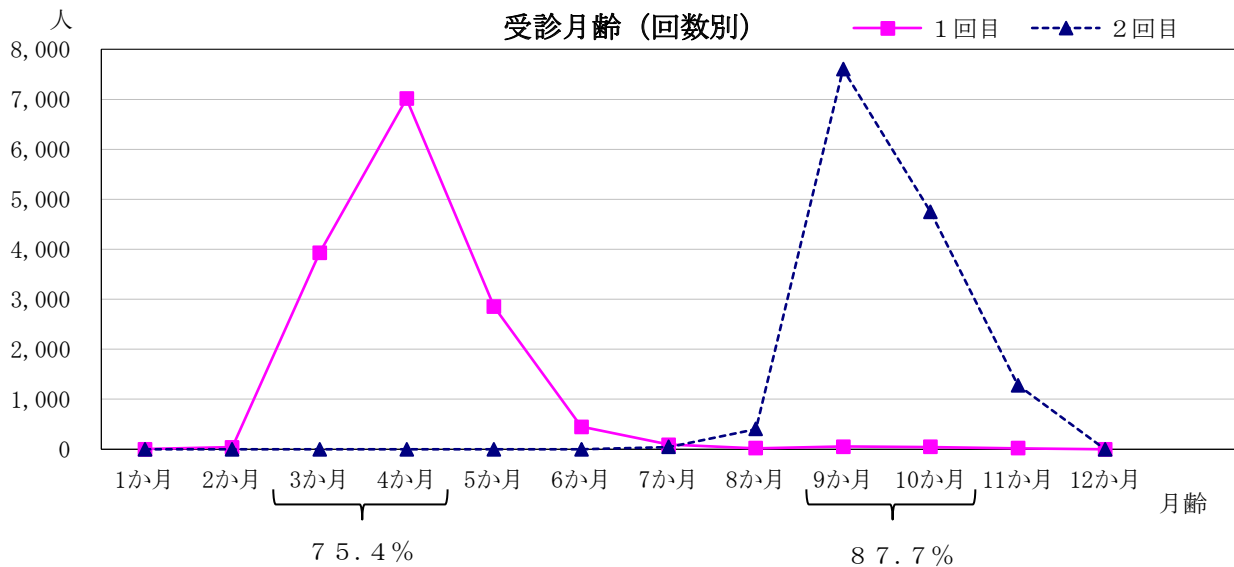
月齢		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
1 回目	男	1	23	2,044	3,456	1,462	232	47	9	31	23	14	7,342
	女	-	19	1,881	3,553	1,390	217	42	10	20	25	10	7,167
	小計	1	42	3,925	7,009	2,852	449	89	19	51	48	24	14,509
2 回目	男	-	-	-	-	-	-	24	204	3,830	2,429	676	7,163
	女	-	-	-	-	-	-	26	200	3,773	2,314	607	6,920
	小計	-	-	-	-	-	-	50	404	7,603	4,743	1,283	14,083
計	男	1	23	2,044	3,456	1,462	232	71	213	3,861	2,452	690	14,505
	女	-	19	1,881	3,553	1,390	217	68	210	3,793	2,339	617	14,087
	計	1	42	3,925	7,009	2,852	449	139	423	7,654	4,791	1,307	28,592
受診数に対する割合		0.0	0.1	13.7	24.5	10.0	1.6	0.5	1.5	26.8	16.8	4.6	(%)
期		(前) 14,278						(後) 14,314					

(参照) 統計資料 No. 1～2

乳児一般健康診査の望ましい受診月齢は、1回目が3～4か月（前期）、2回目が9～10か月（後期）とされている。受診状況を見ると、1回目3～4か月の受診は10,934人[75.4%]（H28年度77.3%）、2回目9～10か月は12,346人[87.7%]（H28年度87.8%）となっており、ほぼ適正な月齢に実施されている。

実施回数の少ない離島や対象者の少ない町村では、実施月齢にばらつきがみられる。

受診児（1回目と2回目）を性別にみると、男14,505人、女14,087人である。



乳児一般健康診査の受診率は、市町村の平成29年度対象者数31,535人で算出すると、全体として90.7%となっている。

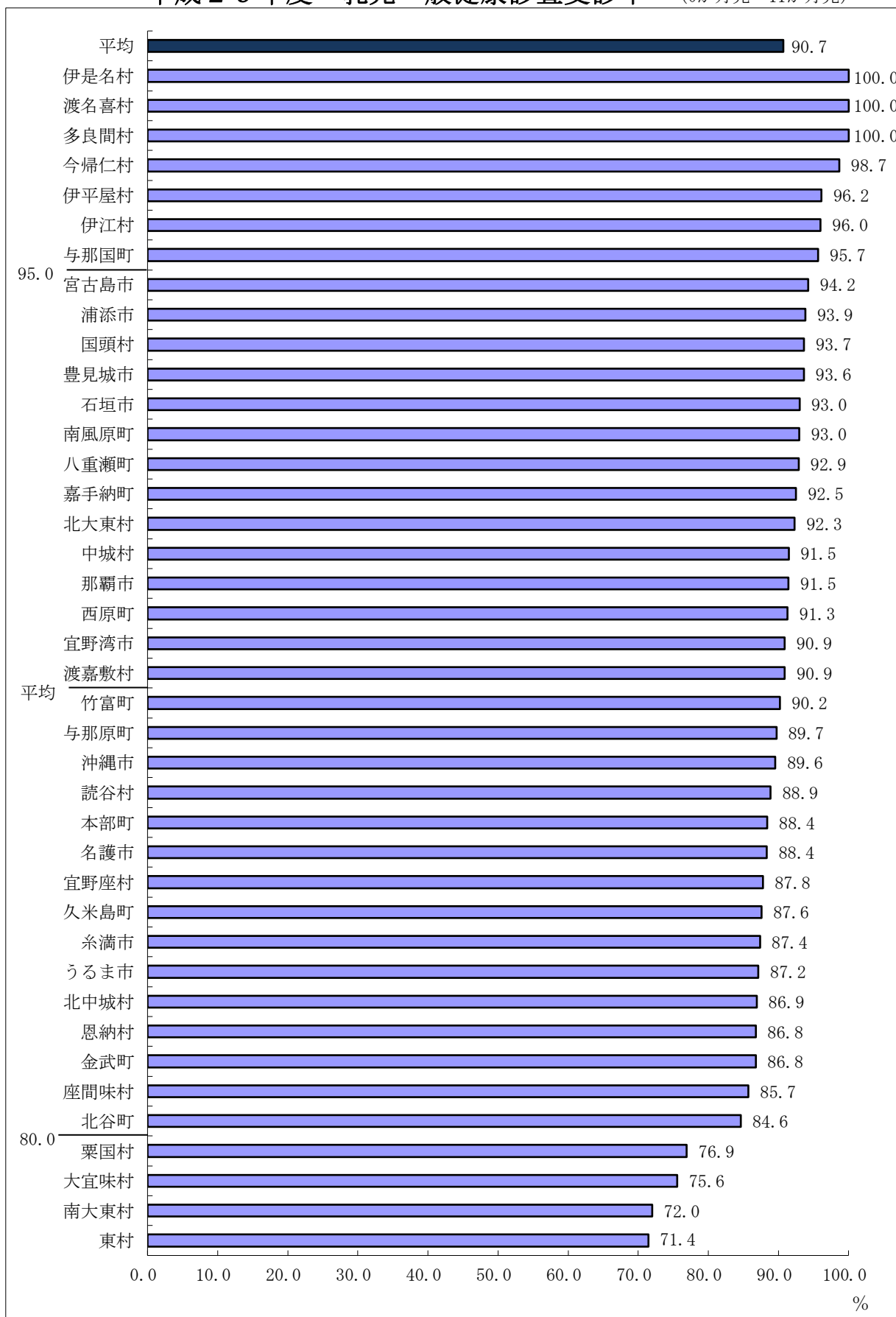
ちなみに、40市町村の平成29年（H29.1.1～H29.12.31）概算出生数15,849人（男8,005人、女7,844人）の単純対象数で算出すると、1回目が91.5%で、2回目が88.9%となる。

乳児一般健康診査受診率（回数別）

	対象者数 (概算出生数)	受診者数	受診率 (%)
1回目	15,849	14,509	91.5
2回目	15,849	14,083	88.9
計	31,698	28,592	90.2

注) 乳児期は、公費による受診機会が1人2回提供される。

平成29年度 乳児一般健康診査受診率 (0か月児～11か月児)



(参照) 統計資料 No. 3 経年比較資料 No. 24

3 出生直後の状況

3-1 在胎週数と出生時体重（1回目受診時）

受診1回目で月齢6か月までの児を在胎週数と出生時体重別に分類したものである。

在胎週数	出生時体重						計
	1,000g未満	1,000～1,449g	1,500～1,999g	2,000～2,499g	2,500g以上	記入なし	
満27週未満	2	1	-	-	1	-	4
28～35週	2	39	110	179	65	1	396
36～39週	-	3	74	960	8,429	9	9,475
満40週以上	-	-	-	55	4,234	6	4,295
記入なし	-	-	-	6	98	4	108
計	4	43	184	1,200	12,827	20	14,278

注) H25年の低出生体重児に関する調査によると、低出生体重児は出生体重が小さい程病院で経過観察されている。

3-2 お産のとき（1回目受診時）

お産時の状況をみると、正常分娩が64.2%で異常分娩が35.8%となっている。異常分娩の内訳では帝王切開が68.4%と高い割合になっている。

	正常分娩	異常分娩	小計	記入なし	計
実人員	9,303	5,191	14,494	15	14,509
%	64.2	35.8	100.0	-	-

単位：件

異常分娩（再掲）	骨盤位	吸引	鉗子	帝王切開	前期破水	臍帯巻絡	出血	早産	子宮内感染	その他
5,191	311	1,123	11	3,551	396	103	131	364	27	93
%	6.0	21.6	0.2	68.4	7.6	2.0	2.5	7.0	0.5	1.8

(参照) 統計資料 No. 19

3-3 生まれたとき（1回目受診時）

	なし	あり	ありの内訳			小計	記入なし	計
			正常	再検査	不明			
実人員	3,928	9,801	9,576	74	151	13,729	780	14,509
%	28.6	71.4	(99.2)	(0.8)	-	100.0	-	-

注) () は検査ありのうち、不明を除いた数を分母に算出した割合。

○H26年度厚生労働省の調査に基づく初回検査実施率は78.9%。

(参照) 統計資料 No. 21

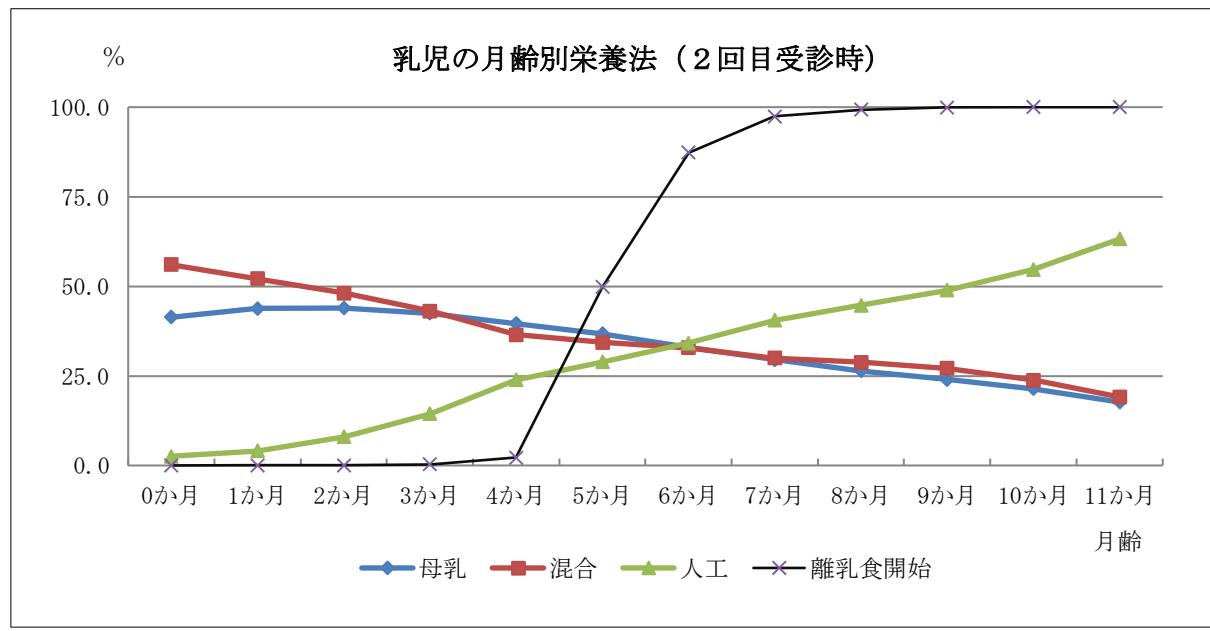
4 乳児の栄養法

4-1 月齢別栄養法と離乳食の実施状況（2回目受診時）

受診2回目の14,083人の乳児を対象に栄養法を分類すると、生後3か月で混合栄養が43.1%、母乳栄養が42.5%、人工栄養が14.4%となっている。離乳食は、6か月で87.3%が実施している。

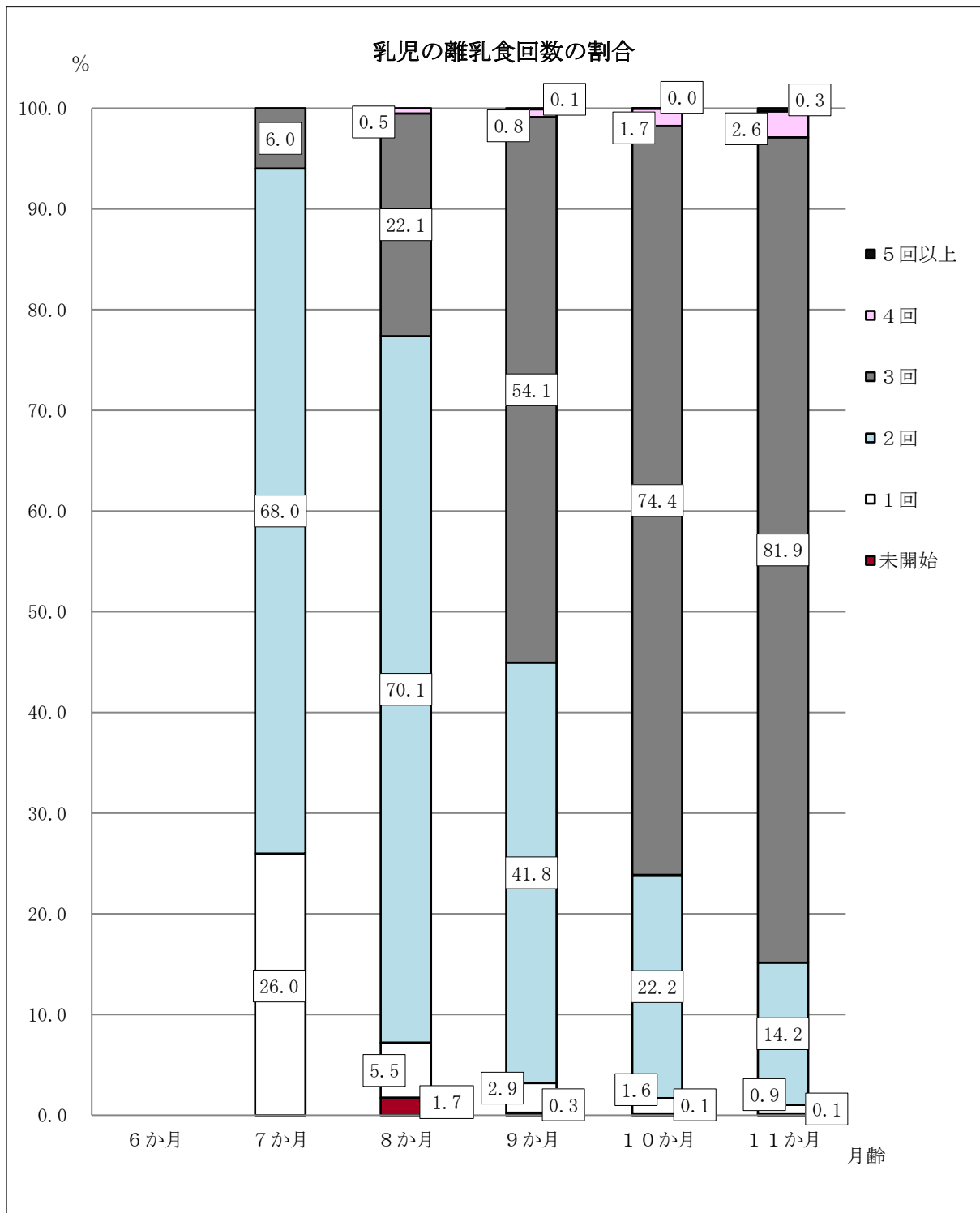
月齢(時)	受診者数(人)	母乳(%)	混合(%)	人工(%)	離乳食実施状況(%)
0か月	13,523	41.4	56.0	2.6	-
1か月	13,545	43.8	52.1	4.0	-
2か月	13,582	43.9	48.1	8.0	0.1
3か月	13,606	42.5	43.1	14.4	0.3
4か月	13,588	39.6	36.5	23.9	2.2
5か月	13,591	36.7	34.4	28.9	49.8
6か月	13,586	33.0	32.8	34.2	87.3
7か月	13,551	29.5	30.0	40.5	97.4
8か月	13,504	26.4	28.8	44.7	99.3
9か月	13,311	24.0	27.1	48.9	99.9
10か月	5,900	21.4	23.8	54.7	100.0
11か月	1,266	17.7	19.1	63.2	100.0
割合	-	35.3	38.1	26.5	-

注) 月齢別栄養法の分類とは、月齢ごとに栄養法を単純に分類したものである。



4-2 月齢別離乳食回数（2回目受診時）

離乳食回数について、6か月から11か月児までを対象に集計をした。9か月児は2回食が41.8%、3回食が54.1%となっている。



注) H29年度の2回目受診においては、月齢6か月児はいない。

4-3 離乳食の状況（2回目受診時）

○離乳食の開始月齢（10か月児）

開始月齢	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	小計	未開始	記入なし
実人員	12	75	2,204	1,806	487	109	39	3	4,735	6	2
%	0.3	1.6	46.5	38.1	10.3	2.3	0.8	0.1	100.0	-	-

○離乳食の食べ方（6か月～11か月児）

単位：人

月齢	よく食べる	嫌がる	時間がかかる	内容不明	小計	未開始	記入なし
6か月	-	-	-	-	-	-	-
%	-	-	-	-	-	-	-
7か月	42	5	3	-	50	-	-
%	84.0	10.0	6.0	-	100.0	-	-
8か月	334	23	36	4	397	7	-
%	84.1	5.8	9.1	1.0	100.0	-	-
9か月	6,312	439	721	108	7,580	19	4
%	83.3	5.8	9.5	1.4	100.0	-	-
10か月	3,994	243	424	76	4,737	5	1
%	84.3	5.1	9.0	1.6	100.0	-	-
11か月	1,131	39	93	18	1,281	1	1
%	88.3	3.0	7.3	1.4	100.0	-	-
計	11,813	749	1,277	206	14,045	32	6
%	84.1	5.3	9.1	1.5	100.0	-	-

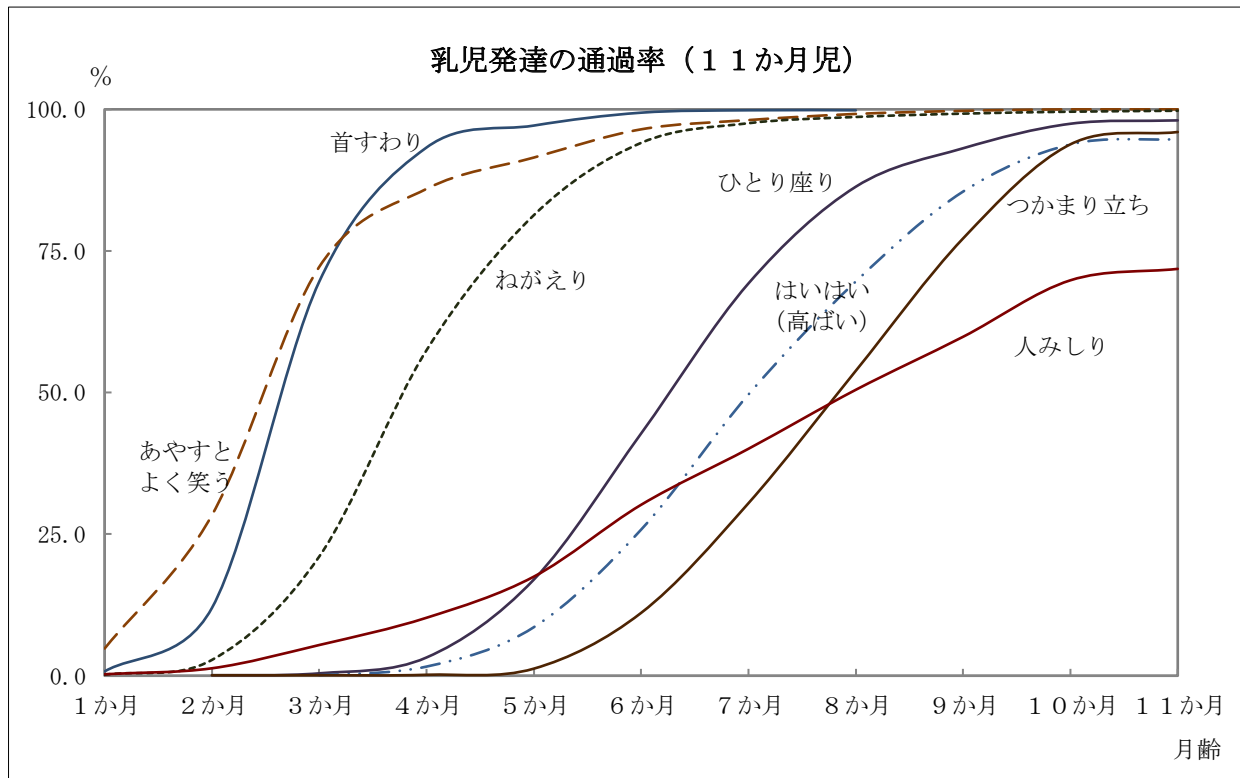
○ベビーフードの利用（6か月～11か月児）

単位：人

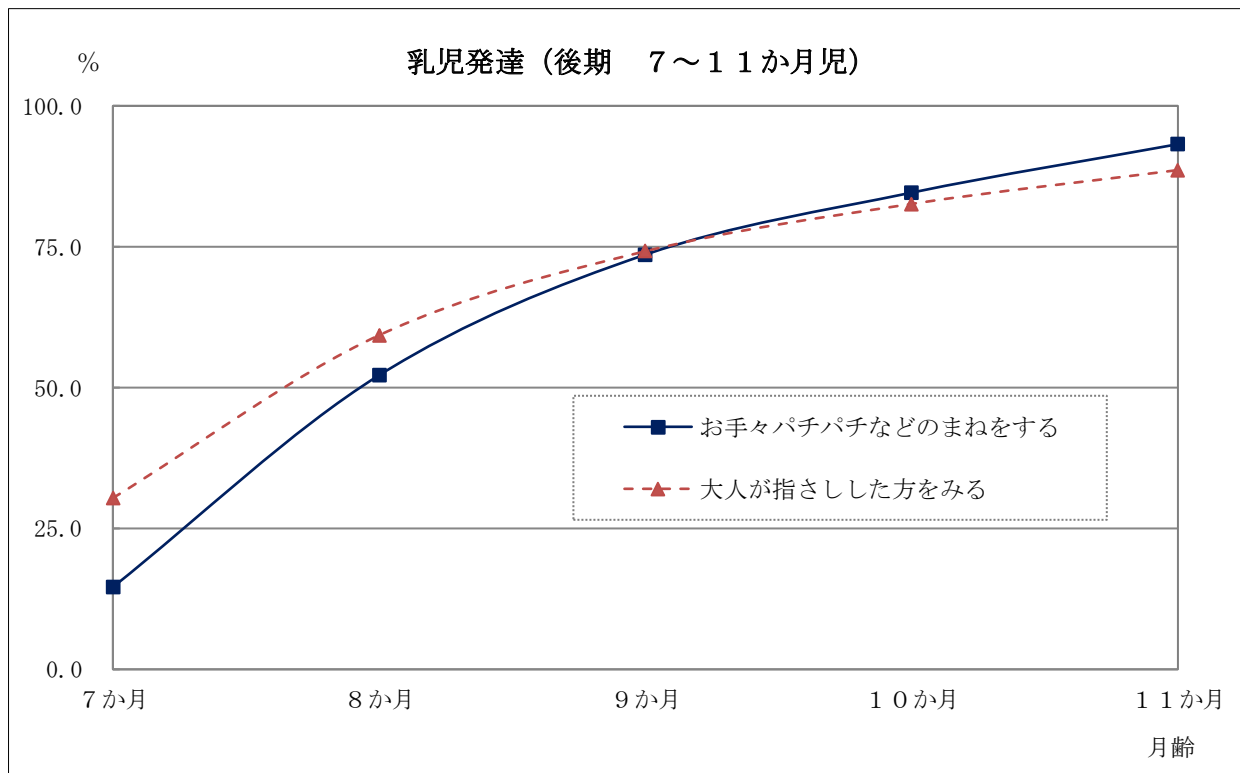
月齢	使わない	時々	よく使う	内容不明	小計	未開始	記入なし
6か月	-	-	-	-	-	-	-
%	-	-	-	-	-	-	-
7か月	5	30	15	-	50	-	-
%	10.0	60.0	30.0	-	100.0	-	-
8か月	109	208	77	3	397	7	-
%	27.5	52.4	19.4	0.8	100.0	-	-
9か月	2,404	3,972	1,175	29	7,580	19	4
%	31.7	52.4	15.5	0.4	100.0	-	-
10か月	1,611	2,449	655	22	4,737	5	1
%	34.0	51.7	13.8	0.5	100.0	-	-
11か月	389	666	220	6	1,281	1	1
%	30.4	52.0	17.2	0.5	100.0	-	-
計	4,518	7,325	2,142	60	14,045	32	6
%	32.2	52.2	15.3	0.4	100.0	-	-

5 発達

乳児の運動発達について、受診時の月齢が11か月児1,307人を対象に分類した。



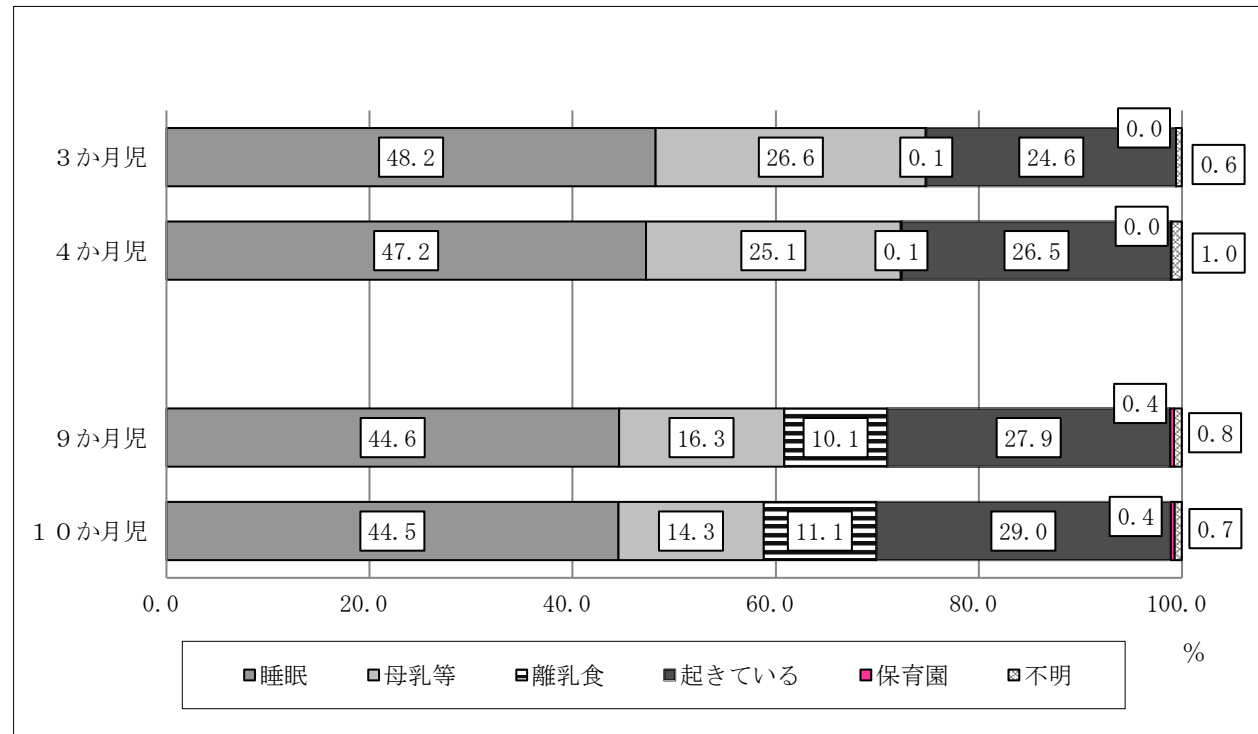
乳児の社会性発達については、受診時の月齢が7～11か月の児14,314人を対象に分類した。



6 乳児の生活リズム

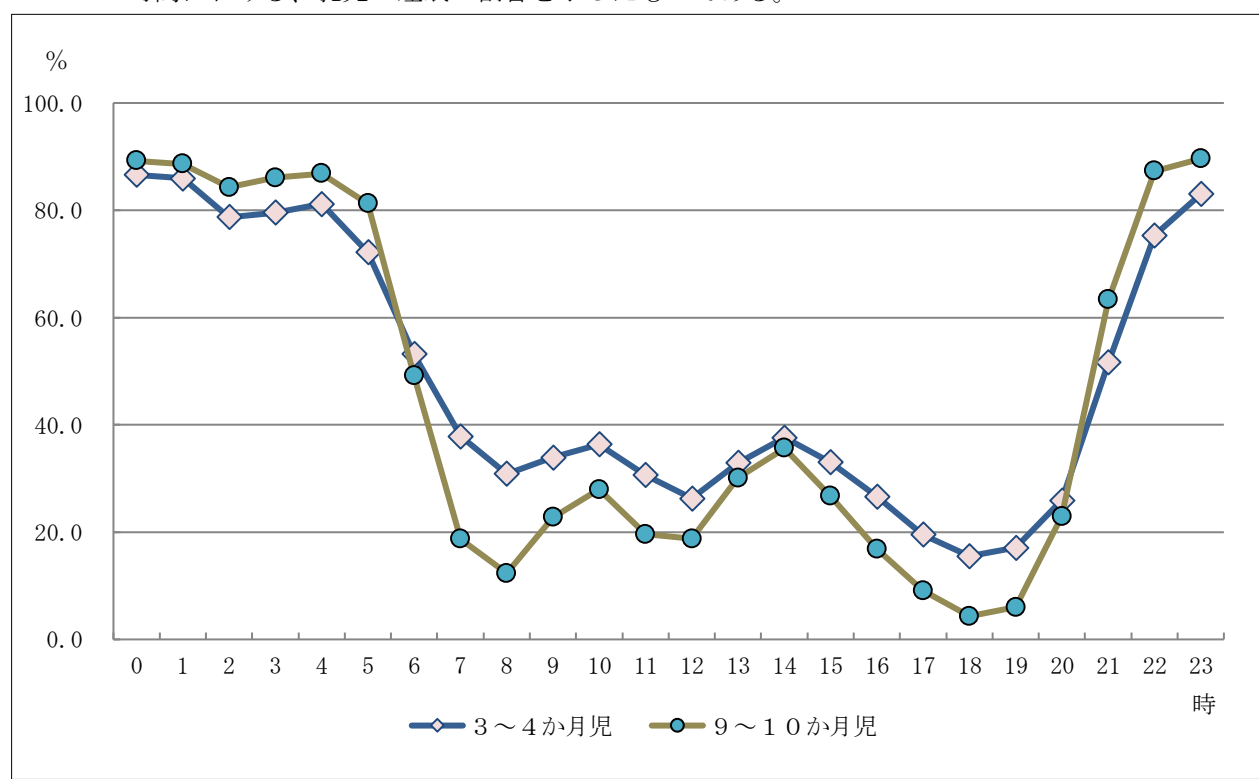
○乳児の一日の生活状況（3～4か月児・9～10か月児）

乳児の一日の生活リズムの割合を示したものである。



○乳児の一日の睡眠リズム（3～4か月児・9～10か月児）

24時間における、乳児の睡眠の割合を示したものである。



7 診察・検査結果

平成29年度の乳児一般健康診査の受診児は28,592人で、医師総合判定の結果、問題なし児が21,434人(75.0%)、要相談等の何らかの判定がある児が7,158人(25.0%)となっている。

診察所見および検査については、診察所見の内容内訳は5,261件、検査結果の異常がある児は2,719件で、延べ7,980件となっている。総合判定結果および診察所見について分類したものを以下に示す。

なお、貧血検査については乳児後期のみを実施している。

総合判定(実人員)

単位：人

判定	問題なし	判定結果異常等(実人員)						小計	
		要相談	要経観	要精密検査	要治療	現在治療中	現在観察中		
受診者数	28,592	21,434	2,592	852	2,394	58	483	779	7,158
%	100.0	75.0	9.1	3.0	8.4	0.2	1.7	2.7	-

(診察所見及び検査の内訳)

計	(1) 診察有所見	(2) 貧血検査の異常
7,980	5,261	2,719

(1) 有所見(件数)	(有所見内訳)					
	発育	皮膚	頭頸部	顔面・口腔	眼	耳鼻咽喉
小計	754	2,013	115	121	78	95
5,261						

(有所見内訳)						
胸部	腹部	そけい外陰部	背部	四肢	発達・神経	その他の異常
254	178	219	72	1,059	165	138

(2) 貧血検査の異常(件数)		
	前期	後期
小計	5	2,714
2,719		

(参照) 統計資料 No. 3~6

7-1 診察有所見の内訳

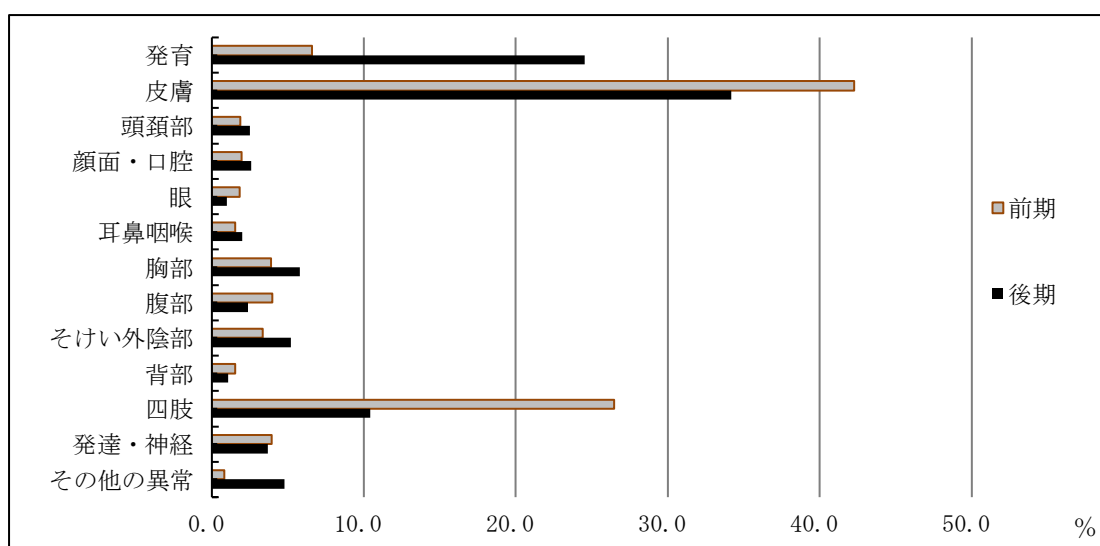
有所見の内訳

受診者数28,592人、うち診察所見のある児が5,261人（18.4%）となっている。

診察有所見は複数記入がある場合、同部位内はシステム上1件のカウントになっている。部位内のすべての所見を含め延べ件数として示した。

		計	発育	皮膚	頭頸部	顔面・口腔	眼	耳鼻咽喉
件数	前期	2,974	195	1,239	58	60	56	48
	後期	2,287	559	774	57	61	22	47
	計	5,261	754	2,013	115	121	78	95
延べ件数	前期	3,089	203	1,306	58	60	57	48
	%	100.0	6.6	42.3	1.9	1.9	1.8	1.6
	後期	2,368	581	809	59	61	23	47
	%	100.0	24.5	34.2	2.5	2.6	1.0	2.0
	計	5,457	784	2,115	117	121	80	95

	胸部	腹部	そけい 外陰部	背部	四肢	発達・神経	その他の 異常
前期	119	122	99	47	813	93	25
後期	135	56	120	25	246	72	113
計	254	178	219	72	1,059	165	138
前期	120	123	103	47	818	121	25
%	3.9	4.0	3.3	1.5	26.5	3.9	0.8
後期	137	56	123	25	247	87	113
%	5.8	2.4	5.2	1.1	10.4	3.7	4.8
計	257	179	226	72	1,065	208	138

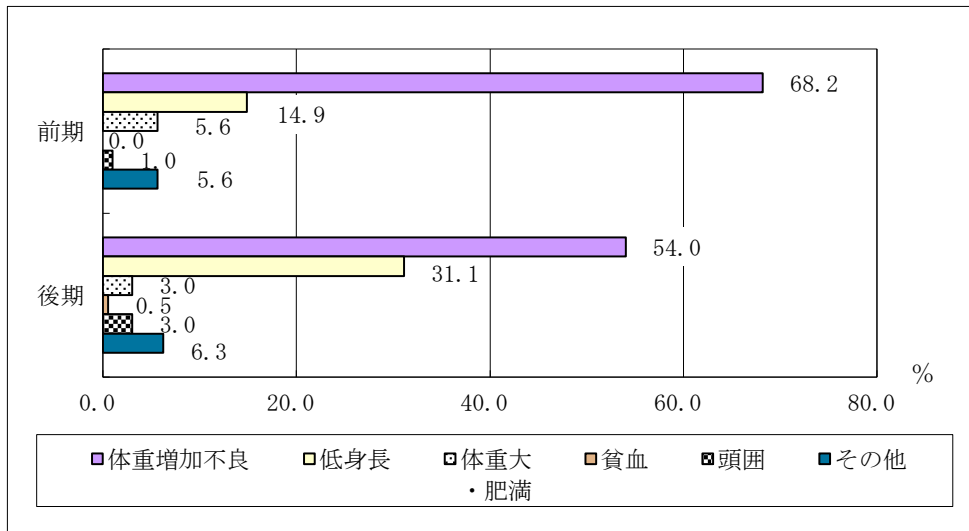


(参照) 統計資料 No. 3~6

①<発育>

単位：件

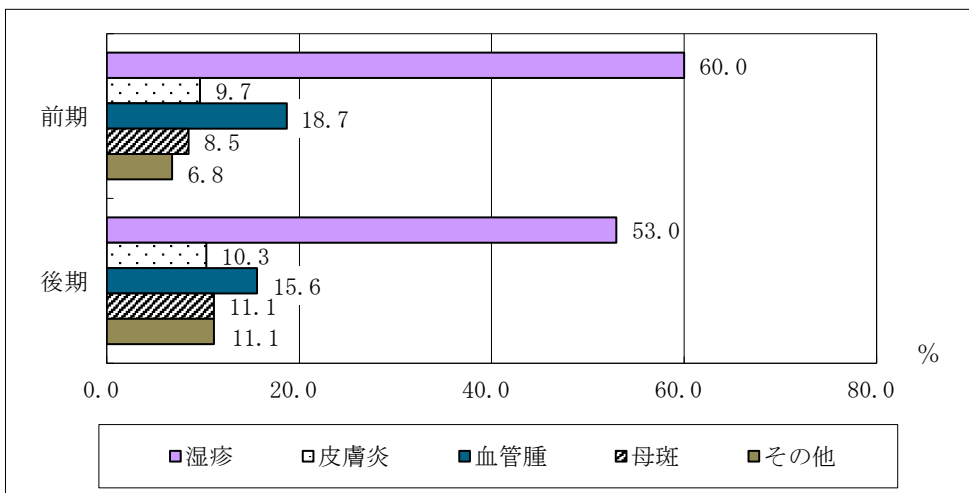
件数		体重増加不良	低身長	体重大・肥満	貧血	頭囲	その他	記入なし	延べ件数
前期	195	133	29	11	-	2	11	17	203
%	25.9	68.2	14.9	5.6	-	1.0	5.6	8.7	-
後期	559	302	174	17	3	17	35	33	581
%	74.1	54.0	31.1	3.0	0.5	3.0	6.3	5.9	-
計	754	435	203	28	3	19	46	50	784
%	100.0	57.7	26.9	3.7	0.4	2.5	6.1	6.6	-



②<皮膚>

単位：件

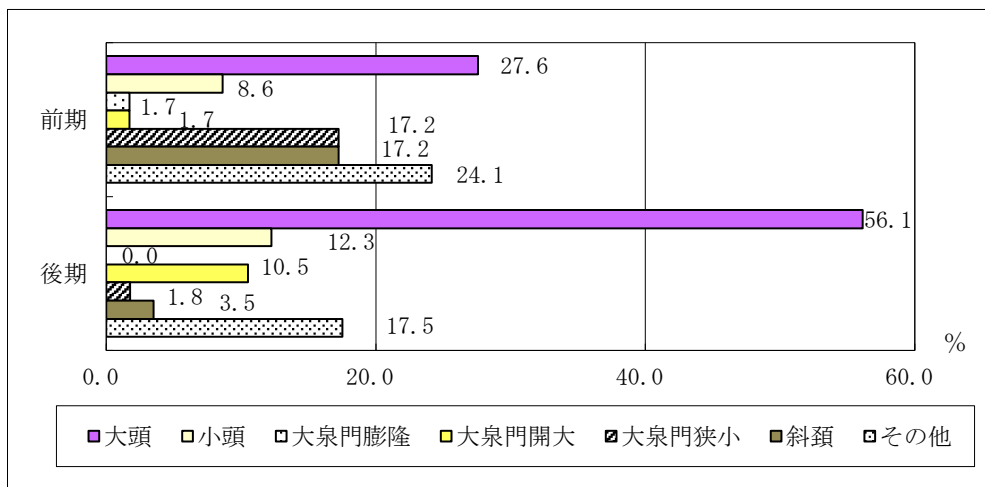
件数		湿疹	皮膚炎	血管腫	母斑	その他	記入なし	延べ件数
前期	1,239	743	120	232	105	84	22	1,306
%	61.5	60.0	9.7	18.7	8.5	6.8	1.8	-
後期	774	410	80	121	86	86	26	809
%	38.5	53.0	10.3	15.6	11.1	11.1	3.4	-
計	2,013	1,153	200	353	191	170	48	2,115
%	100.0	57.3	9.9	17.5	9.5	8.4	2.4	-



③<頭頸部>

単位：件

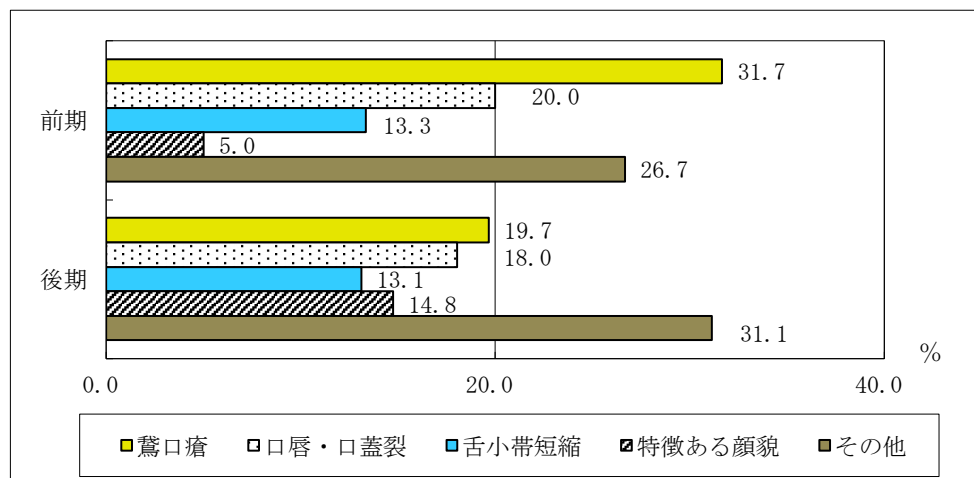
件数		大頭	小頭	大泉門膨隆	大泉門開大	大泉門狭小	斜頸	その他	記入なし	延べ件数
前期	58	16	5	1	1	10	10	14	1	58
%	50.4	27.6	8.6	1.7	1.7	17.2	17.2	24.1	1.7	-
後期	57	32	7	-	6	1	2	10	1	59
%	49.6	56.1	12.3	-	10.5	1.8	3.5	17.5	1.8	-
計	115	48	12	1	7	11	12	24	2	117
%	100.0	41.7	10.4	0.9	6.1	9.6	10.4	20.9	1.7	-



④<顔面・口腔>

単位：件

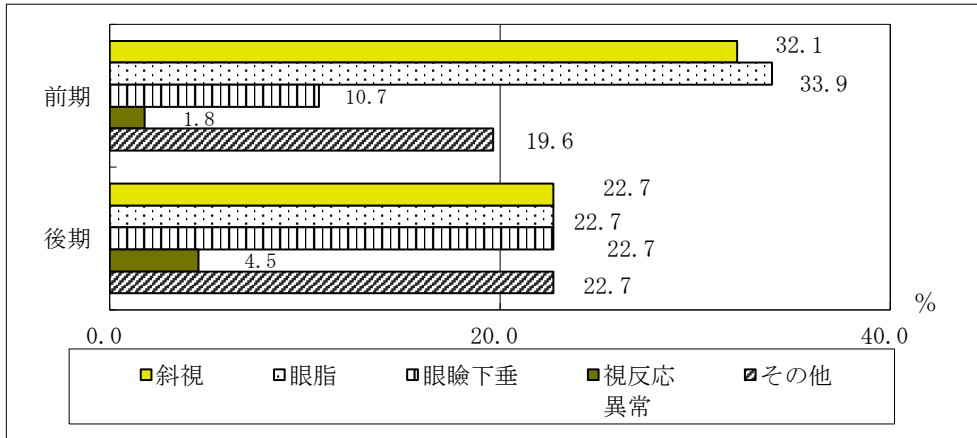
件数		驚口瘡	口唇・口蓋裂	舌小帯短縮	特徴ある顔貌	その他	記入なし	延べ件数
前期	60	19	12	8	3	16	2	60
%	49.6	31.7	20.0	13.3	5.0	26.7	3.3	-
後期	61	12	11	8	9	19	2	61
%	50.4	19.7	18.0	13.1	14.8	31.1	3.3	-
計	121	31	23	16	12	35	4	121
%	100.0	25.6	19.0	13.2	9.9	28.9	3.3	-



⑤<眼>

単位：件

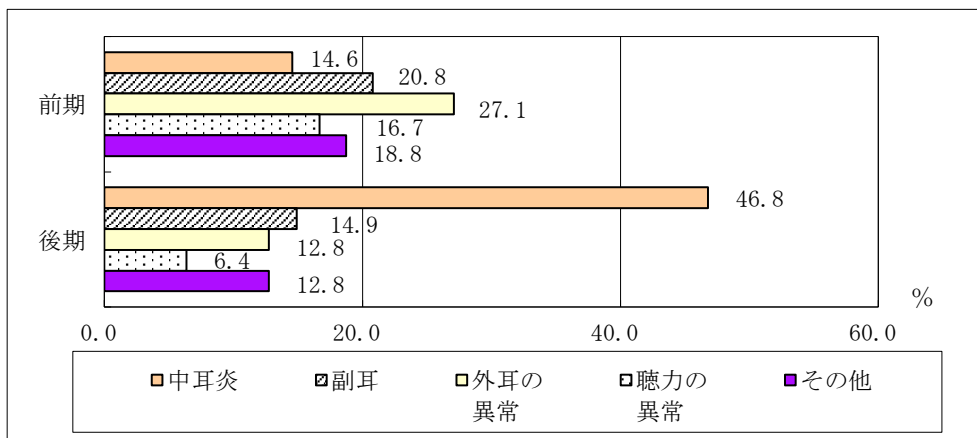
件数		斜視	眼脂	眼瞼下垂	視反応異常	その他	記入なし	延べ件数
前期	56	18	19	6	1	11	2	57
%	71.8	32.1	33.9	10.7	1.8	19.6	3.6	-
後期	22	5	5	5	1	5	2	23
%	28.2	22.7	22.7	22.7	4.5	22.7	9.1	-
計	78	23	24	11	2	16	4	80
%	100.0	29.5	30.8	14.1	2.6	20.5	5.1	-



⑥<耳鼻咽喉>

単位：件

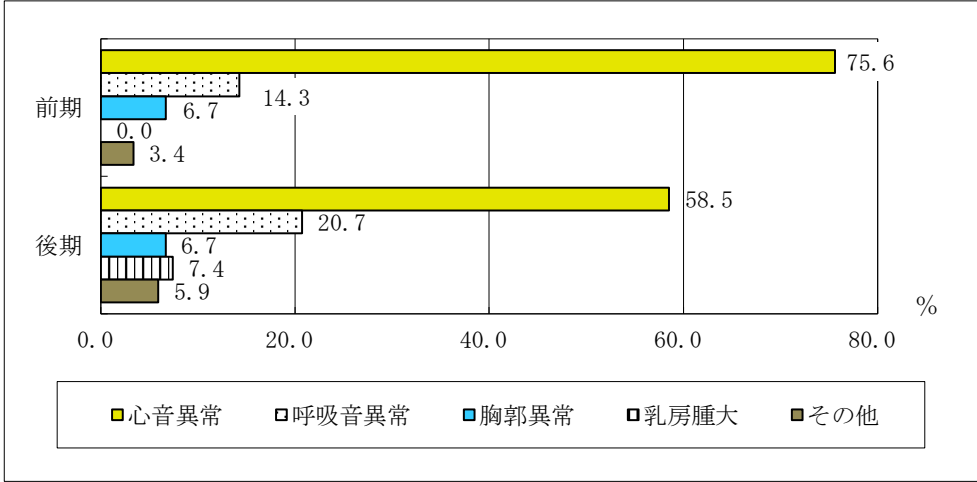
件数		中耳炎	副耳	外耳の異常	聴力の異常	その他	記入なし	延べ件数
前期	48	7	10	13	8	9	1	48
%	50.5	14.6	20.8	27.1	16.7	18.8	2.1	-
後期	47	22	7	6	3	6	3	47
%	49.5	46.8	14.9	12.8	6.4	12.8	6.4	-
計	95	29	17	19	11	15	4	95
%	100.0	30.5	17.9	20.0	11.6	15.8	4.2	-



⑦<胸部>

単位：件

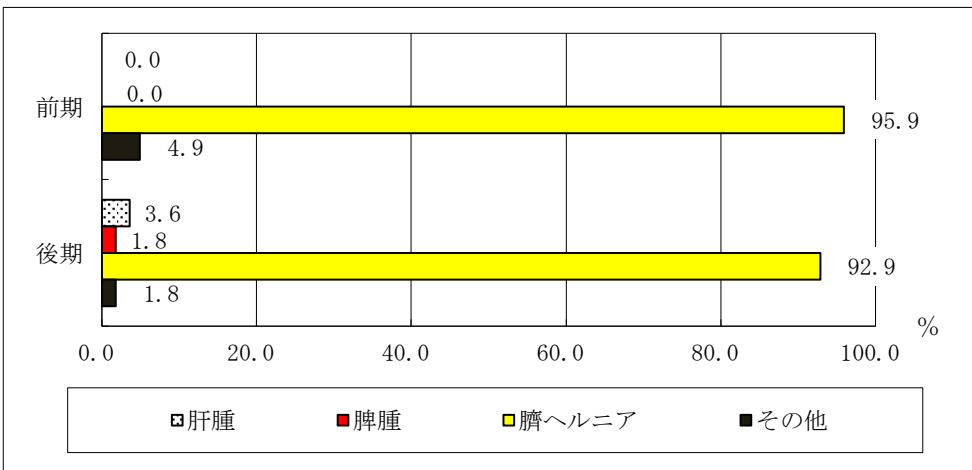
件数	心音異常	呼吸音異常	胸郭異常	乳房腫大	その他	記入なし	延べ件数
前期	119	90	17	8	-	4	1
%	46.9	75.6	14.3	6.7	-	3.4	0.8
後期	135	79	28	9	10	8	3
%	53.1	58.5	20.7	6.7	7.4	5.9	2.2
計	254	169	45	17	10	12	4
%	100.0	66.5	17.7	6.7	3.9	4.7	1.6



⑧<腹部>

単位：件

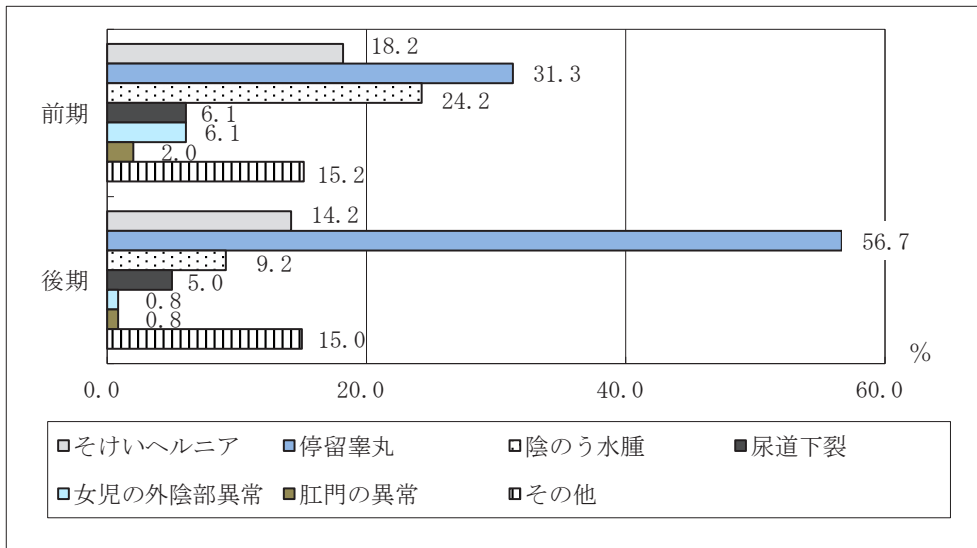
件数	肝腫	脾腫	臍ヘルニア	その他	延べ件数
前期	122	-	117	6	123
%	68.5	-	95.9	4.9	-
後期	56	2	52	1	56
%	31.5	3.6	92.9	1.8	-
計	178	2	169	7	179
%	100.0	1.1	94.9	3.9	-



⑨<そけい外陰部>

単位：件

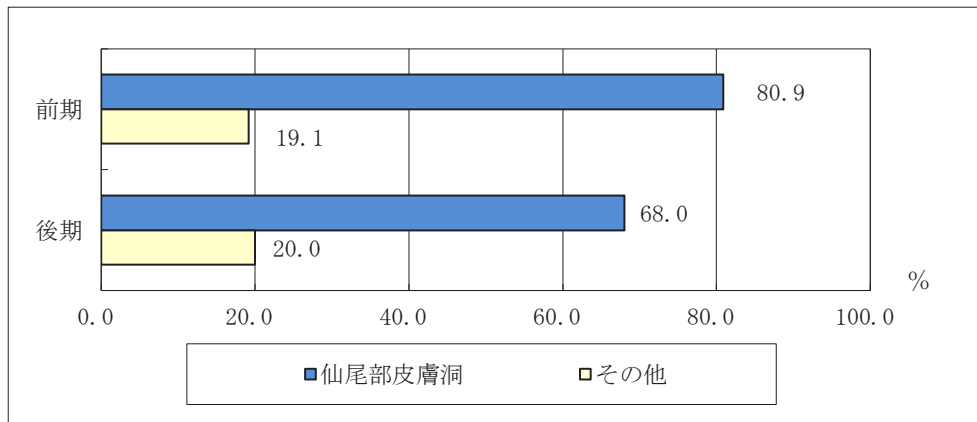
件数	そけいヘルニア	停留辜丸	陰のう水腫	尿道下裂	女児の外陰部異常	肛門の異常	その他	記入なし	延べ件数
前期	99	18	31	24	6	2	15	1	103
%	45.2	18.2	31.3	24.2	6.1	2.0	15.2	1.0	-
後期	120	17	68	11	6	1	18	1	123
%	54.8	14.2	56.7	9.2	0.8	0.8	15.0	0.8	-
計	219	35	99	35	12	3	33	2	226
%	100.0	16.0	45.2	16.0	5.5	1.4	15.1	0.9	-



⑩<背部>

単位：件

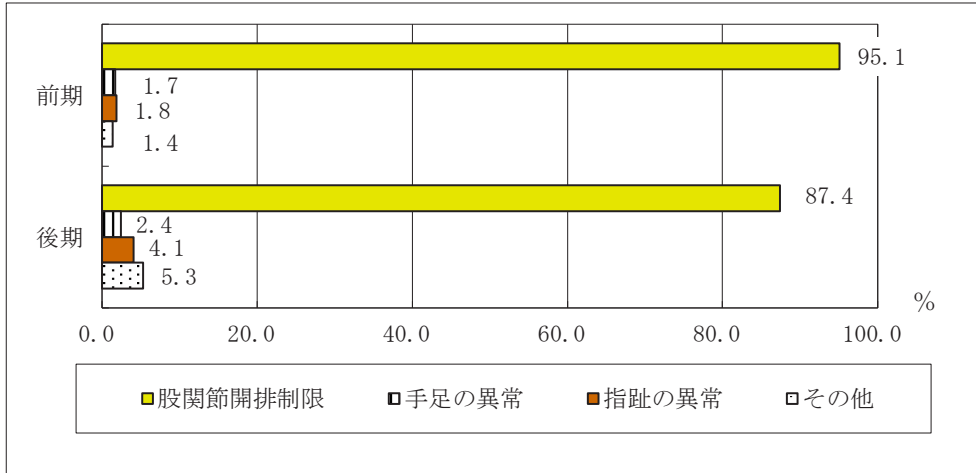
件数	仙尾部皮膚洞	その他	記入なし	延べ件数
前期	47	38	9	47
%	65.3	80.9	19.1	-
後期	25	17	5	25
%	34.7	68.0	20.0	12.0
計	72	55	14	3
%	100.0	76.4	19.4	4.2



⑪<四肢>

単位：件

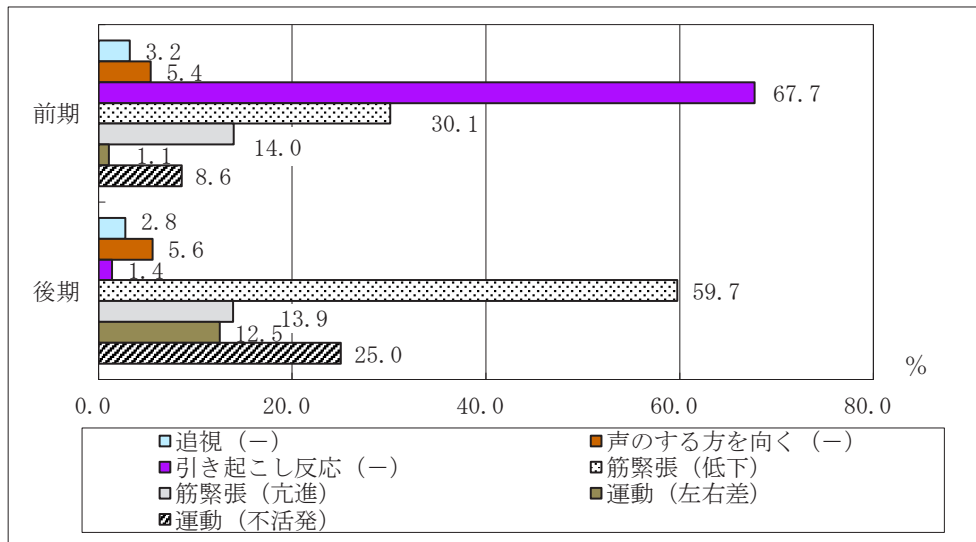
件数	股関節 開排制限	手足の 異常	指趾の 異常	その他	記入なし	延べ件数	
前期	813	773	14	15	11	5	818
%	76.8	95.1	1.7	1.8	1.4	0.6	-
後期	246	215	6	10	13	3	247
%	23.2	87.4	2.4	4.1	5.3	1.2	-
計	1,059	988	20	25	24	8	1,065
%	100.0	93.3	1.9	2.4	2.3	0.8	-



⑫<発達・神経>

単位：件

件数	追視 (-)	声のする 方を向く (-)	引き起こし 反応(-)	筋緊張 (低下)	筋緊張 (亢進)	運動 (左右差)	運動 (不活発)	延べ件数
前期	93	3	5	63	28	13	8	121
%	56.4	3.2	5.4	67.7	30.1	14.0	8.6	-
後期	72	2	4	1	43	10	9	87
%	43.6	2.8	5.6	1.4	59.7	13.9	12.5	-
計	165	5	9	64	71	23	10	208
%	100.0	3.0	5.5	38.8	43.0	13.9	6.1	-



7-2 検査結果の内訳

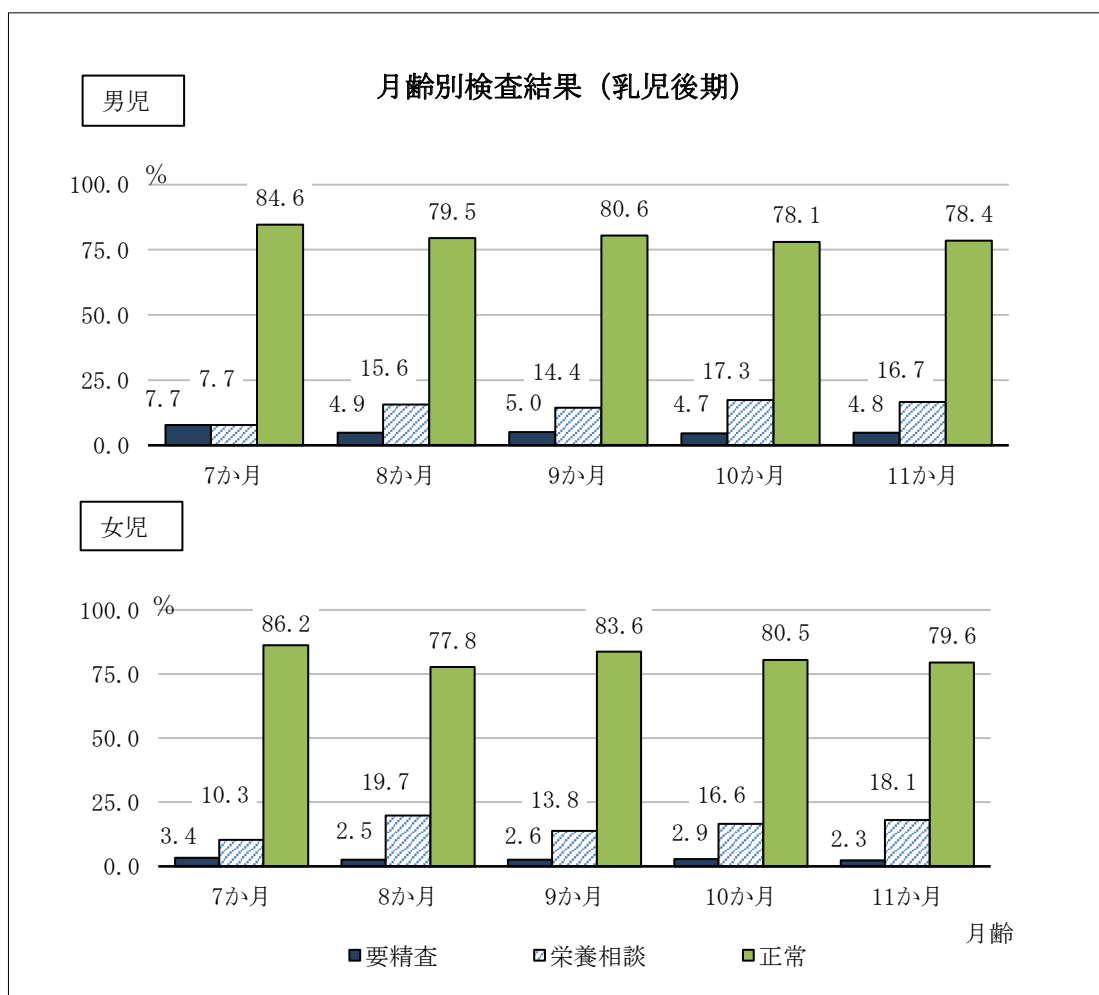
貧血検査

貧血検査は乳児後期を対象とし、検査の実施は14,116人(98.6%)、未検査は198人(1.4%)となっている。実施者の内訳は、要精査は587人(3.8%)、栄養相談が必要な児は2,177人(15.4%)、正常は11,402人(80.8%)となっている。

単位：人

		検査実施 小計	要精査 9.9g/dl以下	栄養相談 10.0~10.9g/dl	正常 11.0g/dl以上	未検査	計
後 期	男	7,180	352	1,119	5,709	107	7,287
	女	6,936	185	1,058	5,693	91	7,027
	計	14,116	537	2,177	11,402	198	14,314
	%	98.6	3.8	15.4	80.8	1.4	-

(参照) 統計資料 No. 7~8

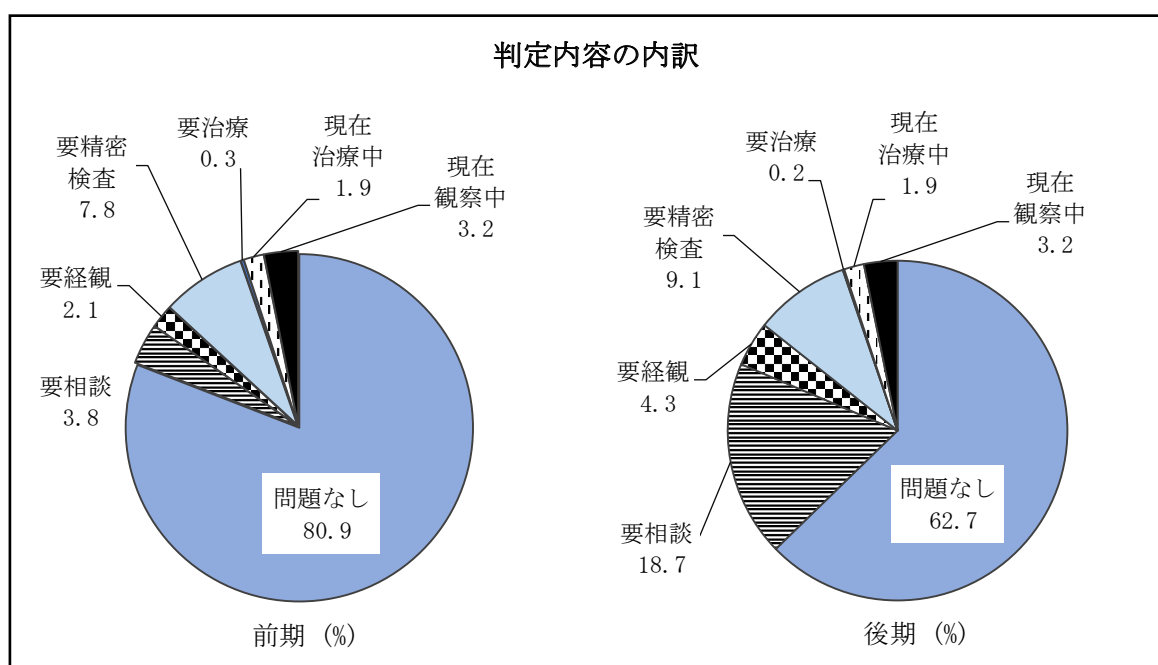


8 総合判定

受診者数28,592人、うち総合判定の結果、問題なし児が21,434人、判定結果異常等あり児が7,158人となっている。

判定結果を複数ある判定内容も含めて集計すると、問題なし21,434件、何らかの判定あり全てを含めると8,499件で、延べ29,933件となっている。

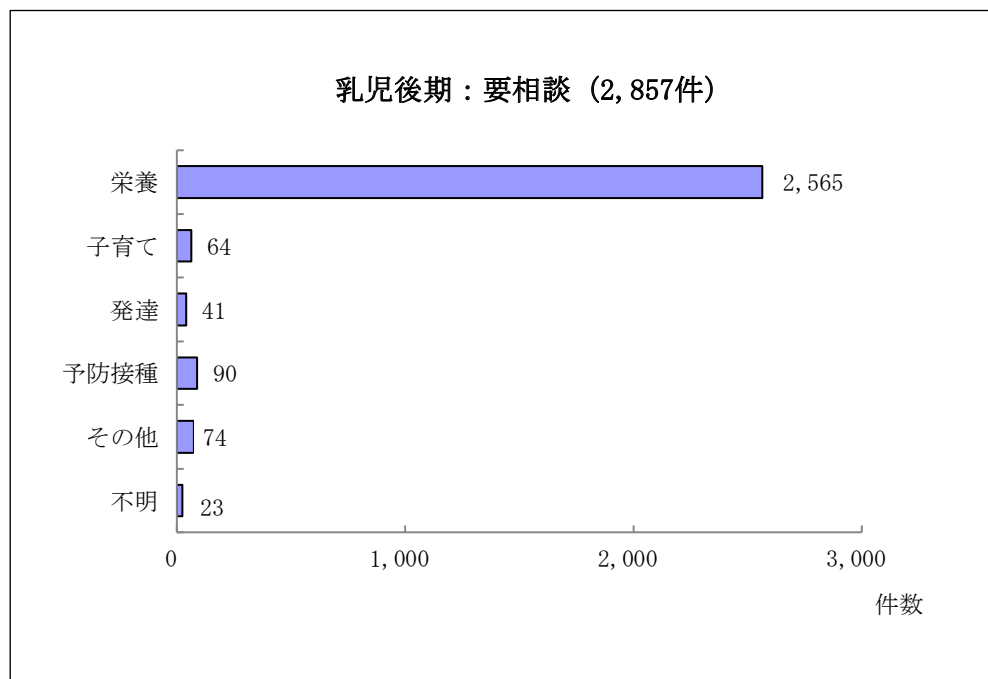
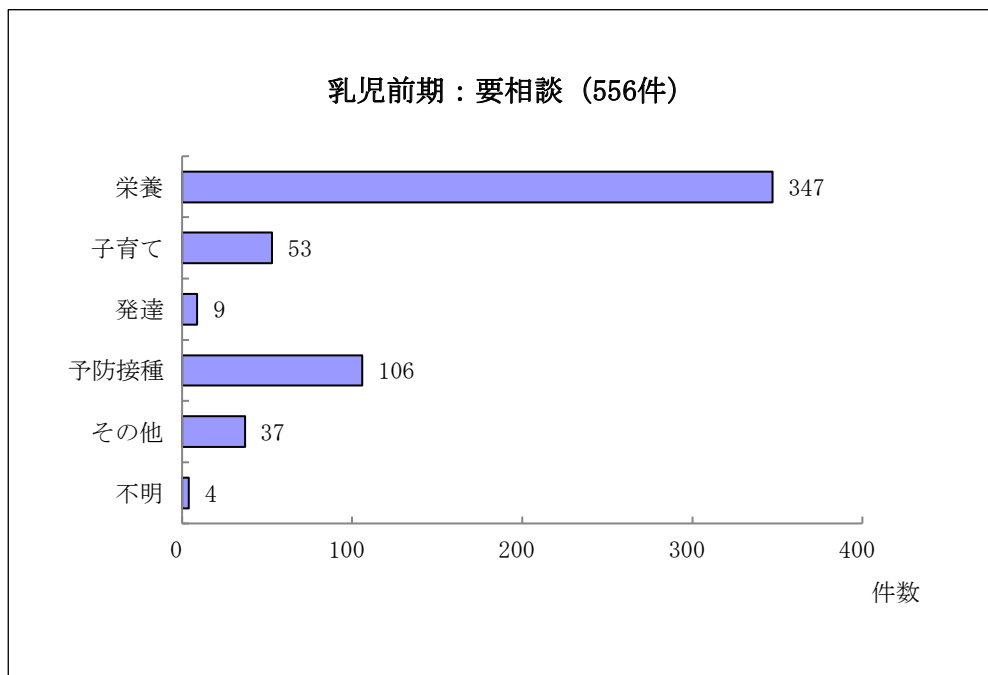
判定		問題なし	判定結果異常等（実人員）						小計
			要相談	要経観	要精密検査	要治療	現在治療中	現在観察中	
受診者数	28,592	21,434	2,592	852	2,394	58	483	779	7,158
%	100.0	75.0	9.1	3.0	8.4	0.2	1.7	2.7	-
前期	14,628	11,834	556	314	1,145	42	274	463	2,794
%	100.0	80.9	3.8	2.1	7.8	0.3	1.9	3.2	-
後期	15,305	9,600	2,857	653	1,394	23	291	487	5,705
%	100.0	62.7	18.7	4.3	9.1	0.2	1.9	3.2	-
延べ件数	29,933	21,434	3,413	967	2,539	65	565	950	8,499
%	100.0	71.6	11.4	3.2	8.5	0.2	1.9	3.2	-



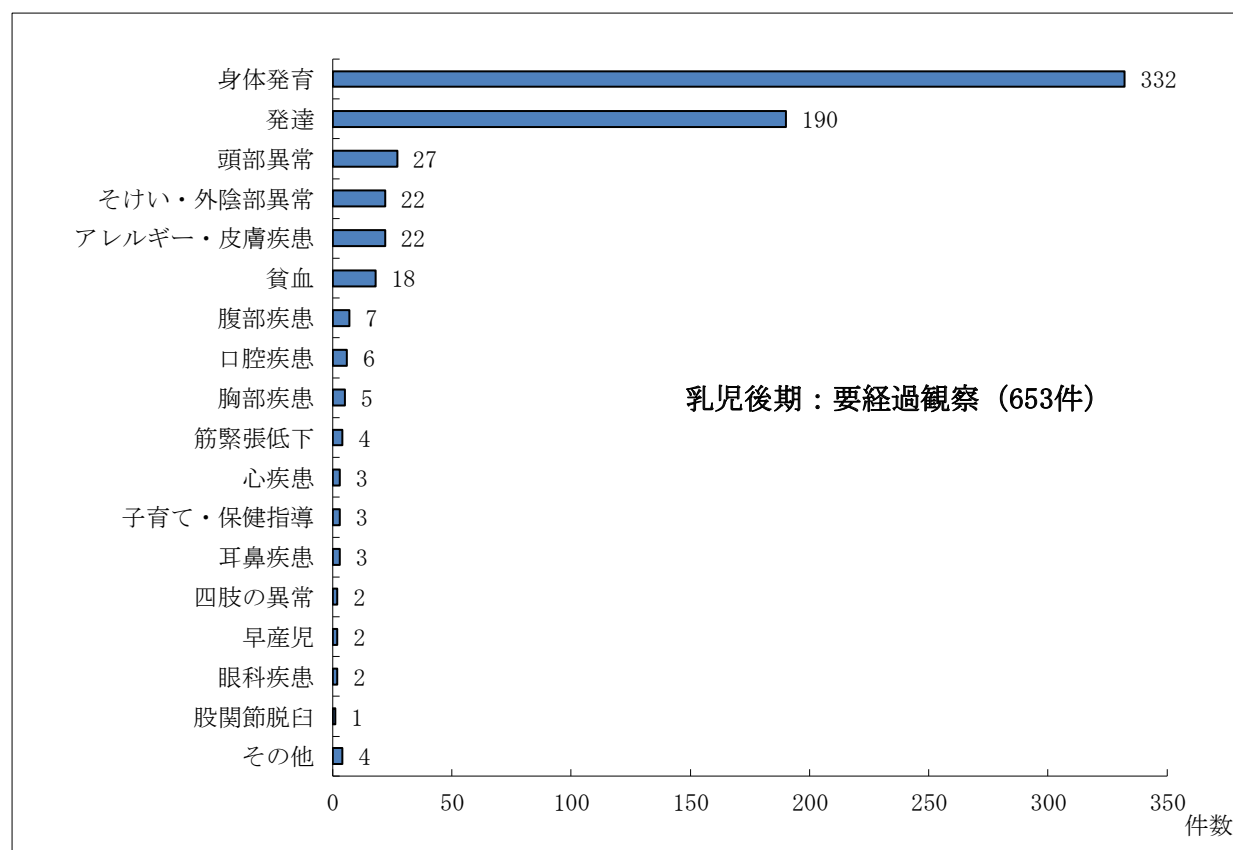
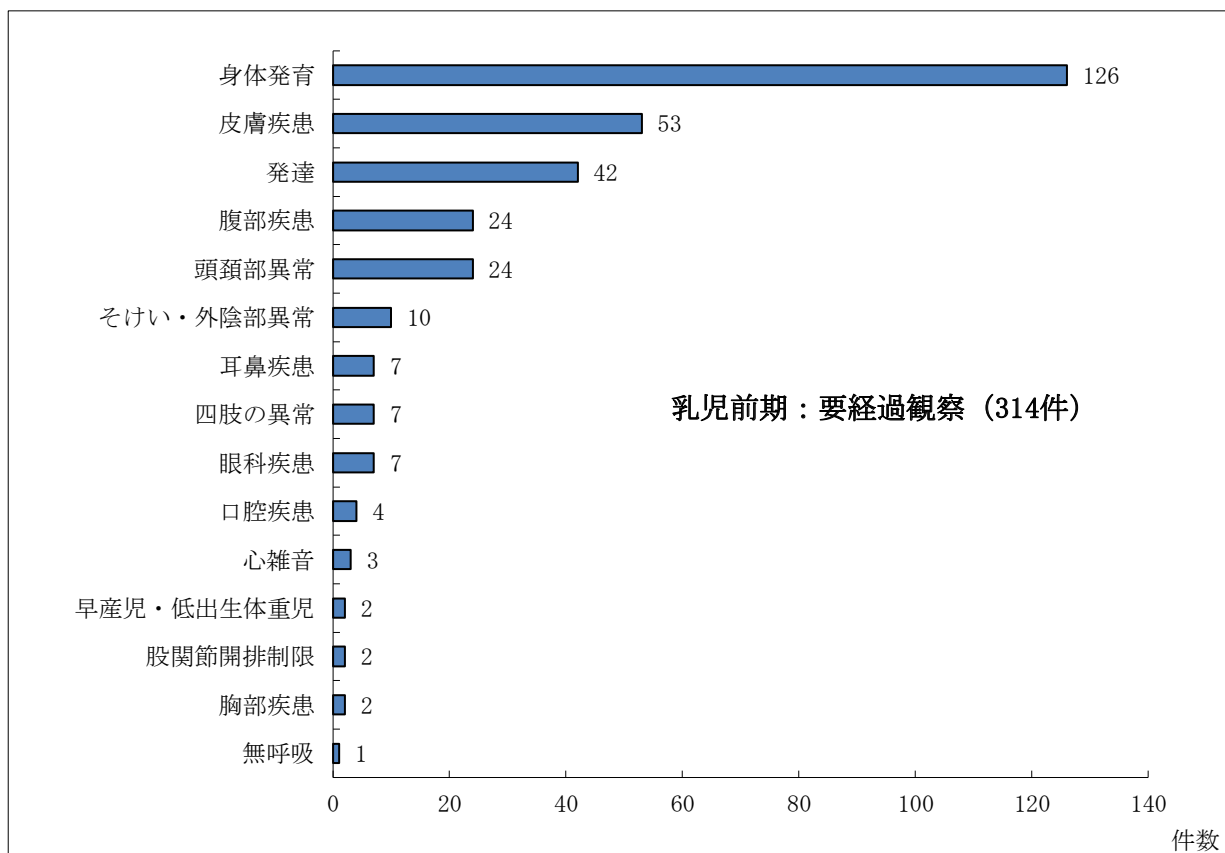
(参照) 統計資料 No. 3~6 経年比較資料 No. 23

8-1 要相談について

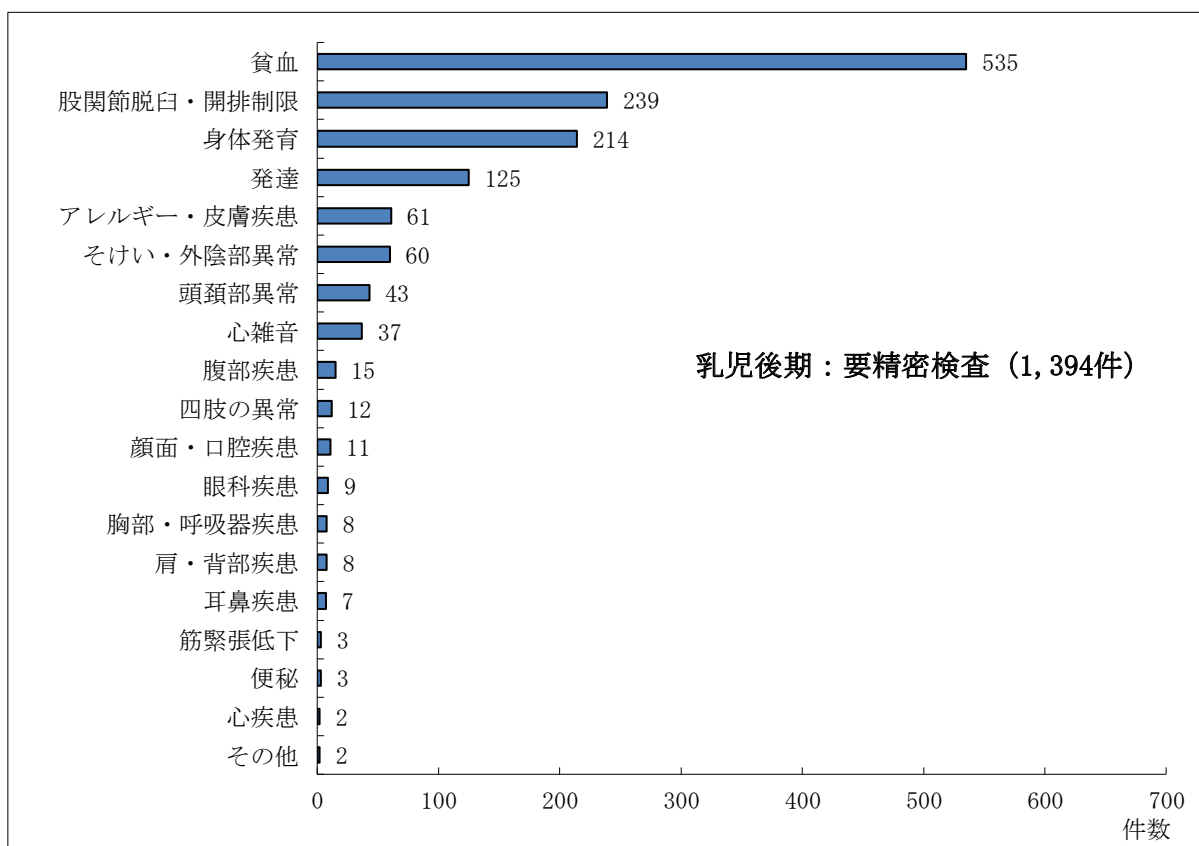
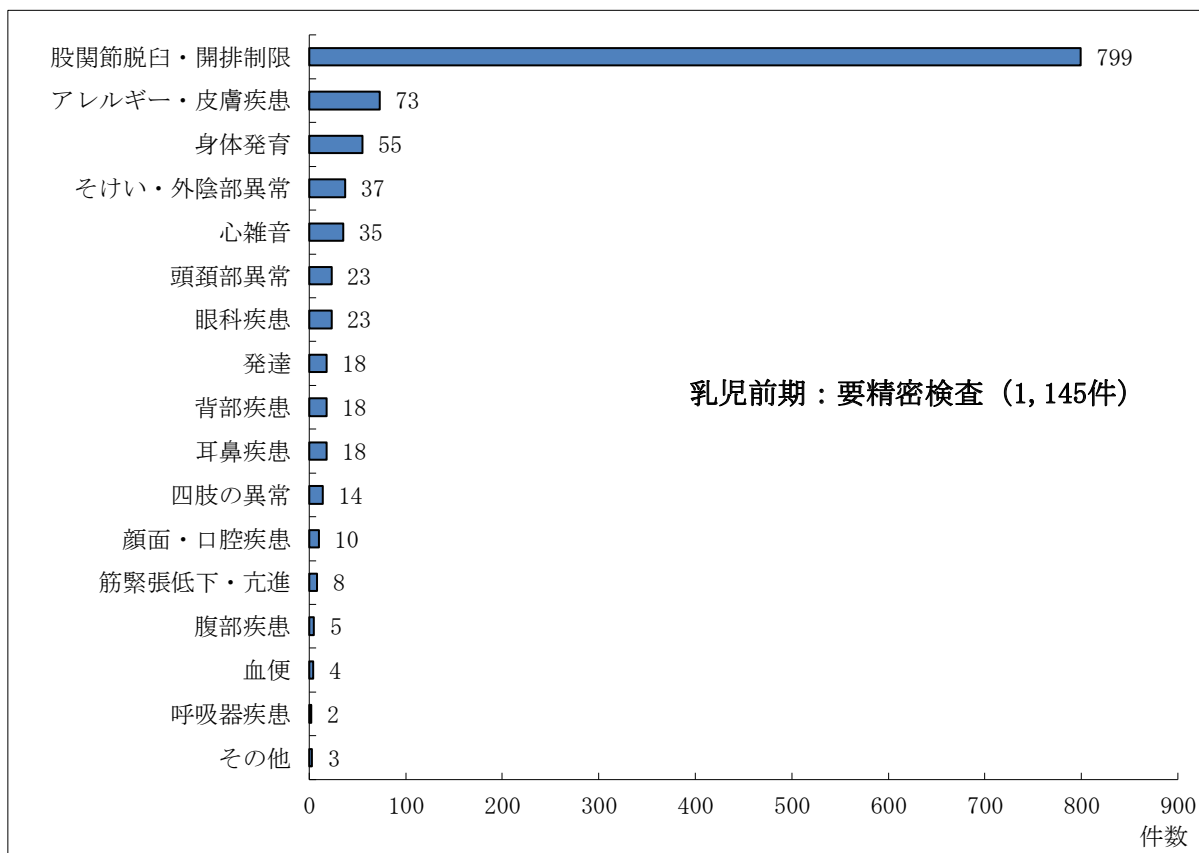
医師の診察結果で相談が必要な場合、専門職へつなぐ内容を示したものである。
項目においては複数の判定記入があり、それらも含め分類した。



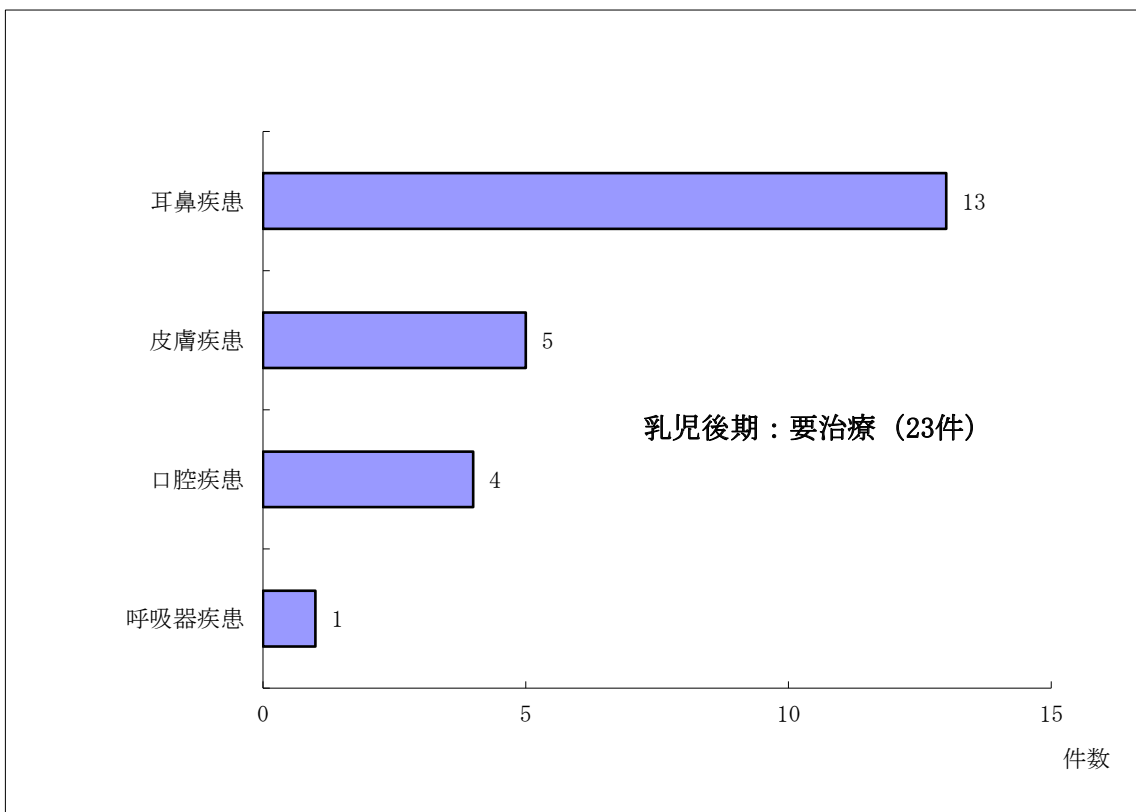
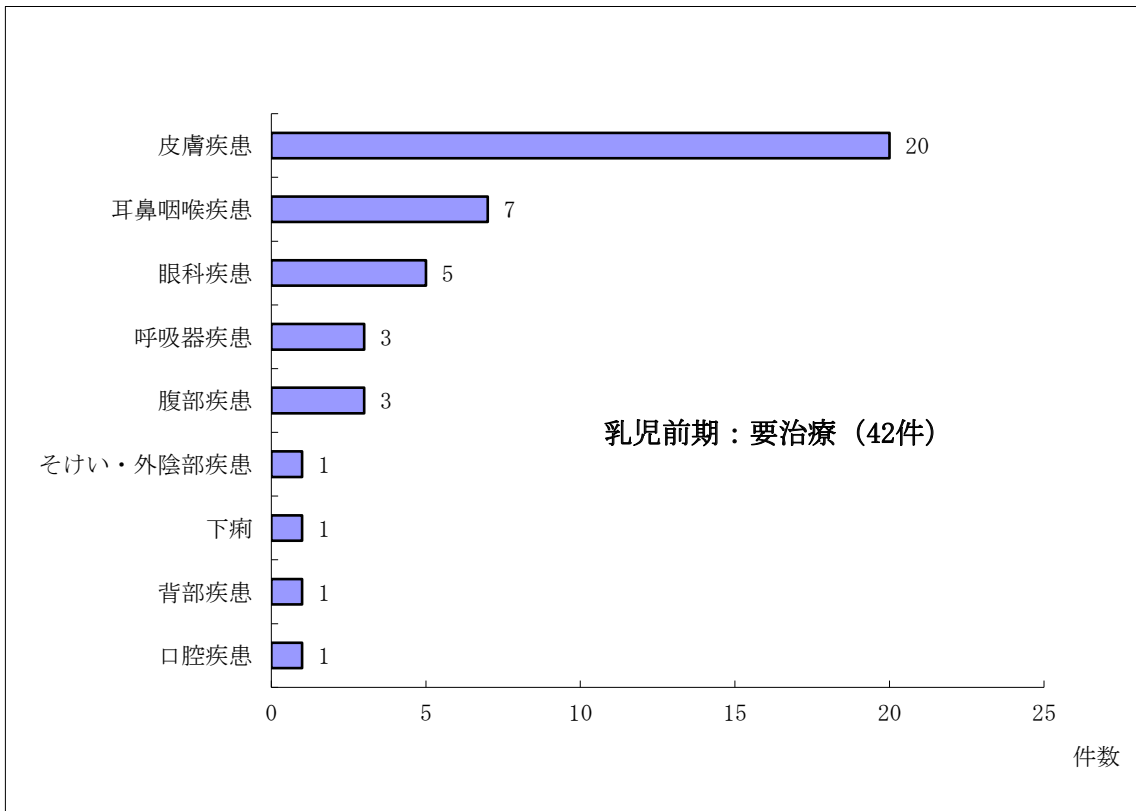
8-2 要経過観察について



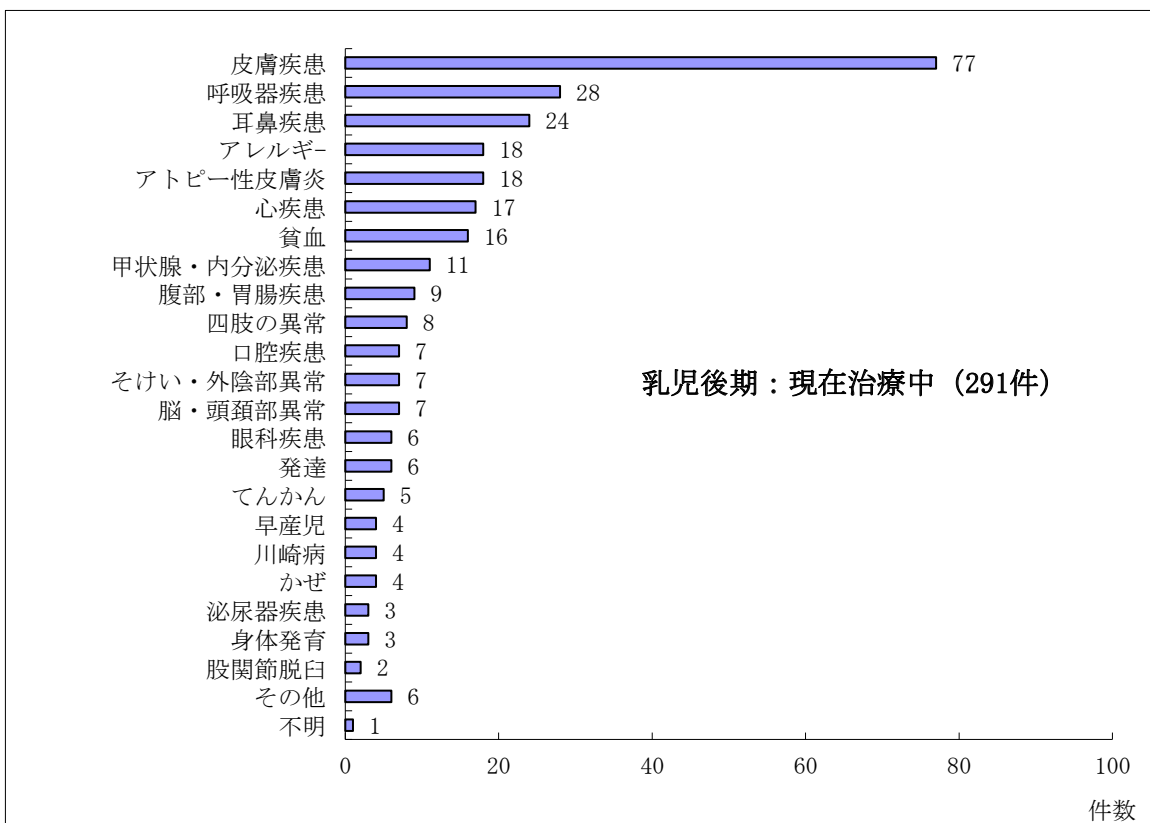
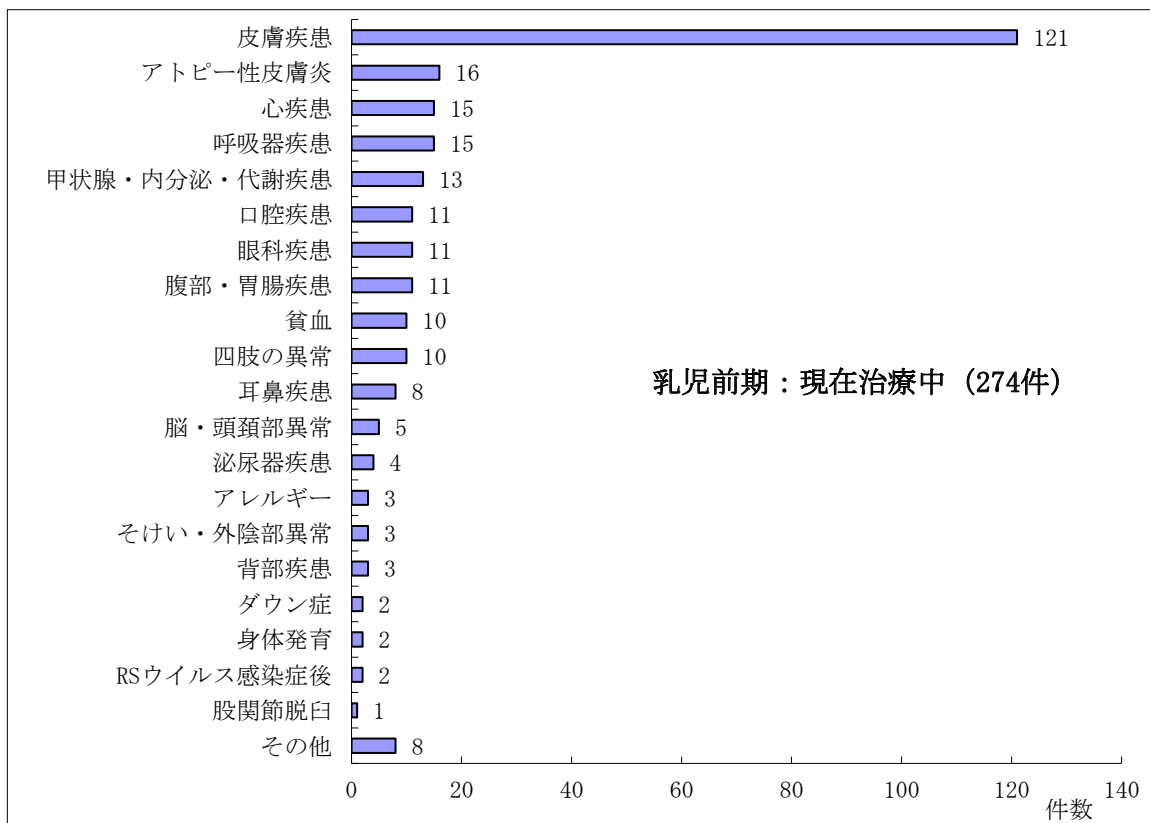
8-3 要精密検査について



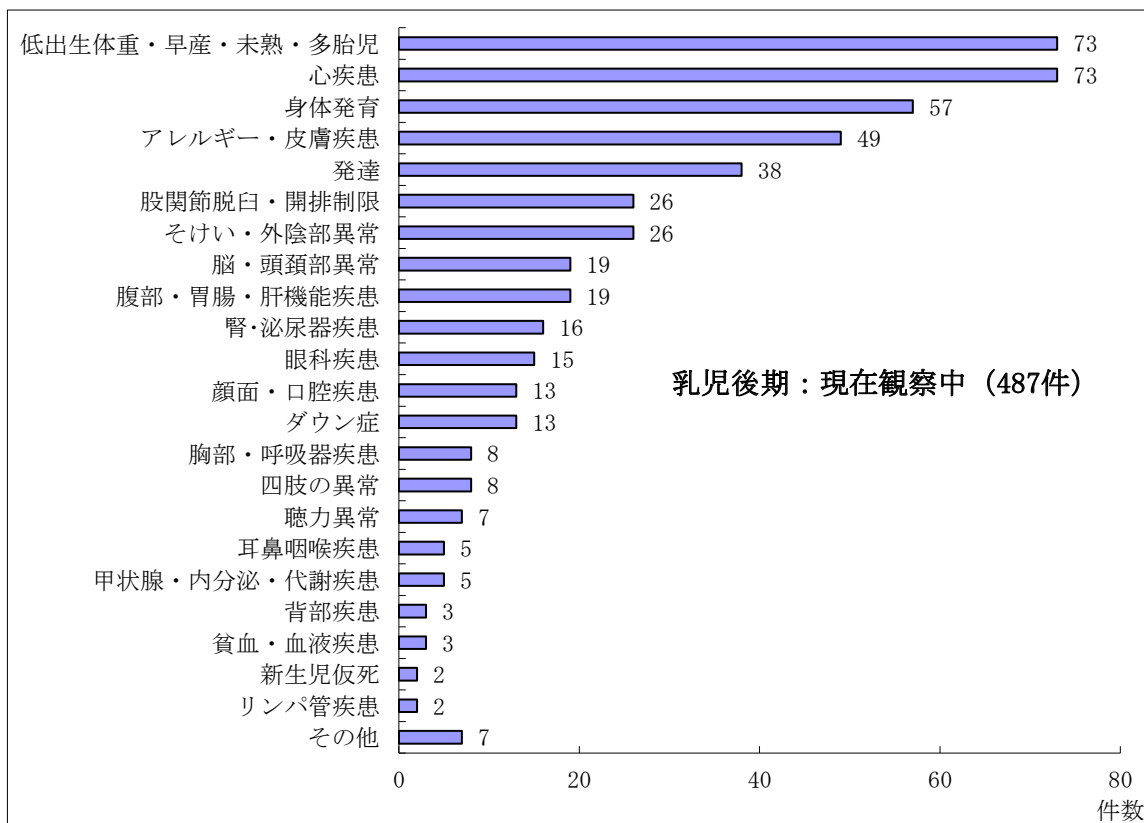
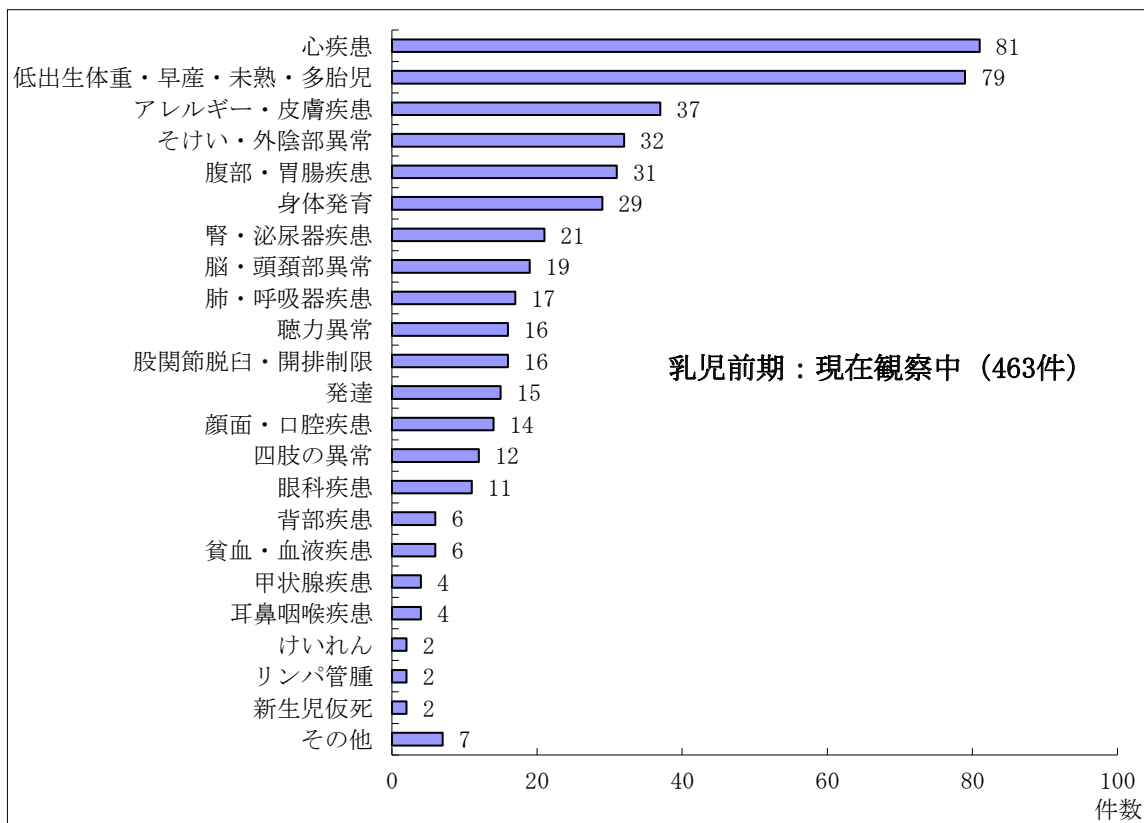
8-4 要治療について



8-5 現在治療中について



8-6 現在観察中について



9 問診・保健相談等の対応

9-1 保健師による問診からの区分

問診からの区分は、問診担当保健師から各専門職へ、該当児等に関し特に配慮して欲しい内容をメッセージとして届けるためのチェック欄である。以下は、その内容項目を示したものである。

	実人員	配慮する項目の分類							
		延べ件数	栄養	家族状況	予防接種	子育て	発達	生活リズム	主訴
実人員	12,985	14,867	2,074	24	300	801	434	158	11,076
実人員に対する割合	%	-	16.0	0.2	2.3	6.2	3.3	1.2	85.3

(参照) 統計資料 No. 13

9-2 保健師による保健相談状況

保健師による保健相談の対応と医師による総合判定状況を示したものである。

保健師による			医師の総合判定（実人員）						
保健相談	受診者数	%	問題なし	要相談	要経観	要精密検査	要治療	現在治療中	現在観察中
要経観	3,922	13.7	811	465	530	1,856	10	75	175
結果説明	22,067	77.2	18,474	1,912	283	408	46	387	557
記入なし	2,603	9.1	2,149	215	39	130	2	21	47
計	28,592	-	21,434	2,592	852	2,394	58	483	779
%	-	100.0	75.0	9.1	3.0	8.4	0.2	1.7	2.7

(参照) 統計資料 No. 14

9-3 保健師による相談内容

保健師の保健相談で要経過観察とした内容を医師の指示と併せて示したものである。

	実人員	要経過観察内訳									
		延べ件数	栄養	子育て	発達	発育	生活習慣	検査	疾病	その他	記入なし
保健師	3,922	4,340	438	258	517	606	29	1,316	180	178	818
	%	-	11.2	6.6	13.2	15.5	0.7	33.6	4.6	4.5	20.9
医師	852	967	-	-	232	458	-	18	259	-	-
	%	-	-	-	27.2	53.8	-	2.1	30.4	-	-

(参照) 統計資料 No. 3~4、15

10 栄養相談の対応

10-1 栄養士による相談有無と出生順位

栄養士の相談対応有無とその児の出生順位について集計したものである。

受診月齢	受診者数	第1子		第2子		第3子		第4子		第5子以上		不明	
		相談あり	なし	相談あり	なし	相談あり	なし	相談あり	なし	相談あり	なし	相談あり	なし
前期	14,278	5,379	198	4,041	613	2,244	408	764	166	278	77	102	8
%	100.0	37.7	1.4	28.3	4.3	15.7	2.9	5.4	1.2	1.9	0.5	0.7	0.1
後期	14,314	5,527	220	4,024	631	2,079	456	703	185	246	86	141	16
%	100.0	38.6	1.5	28.1	4.4	14.5	3.2	4.9	1.3	1.7	0.6	1.0	0.1

注) 栄養相談の内容に記載があるものを対象とした。

(参照) 統計資料 No. 16

10-2 栄養士による相談有無とHb値

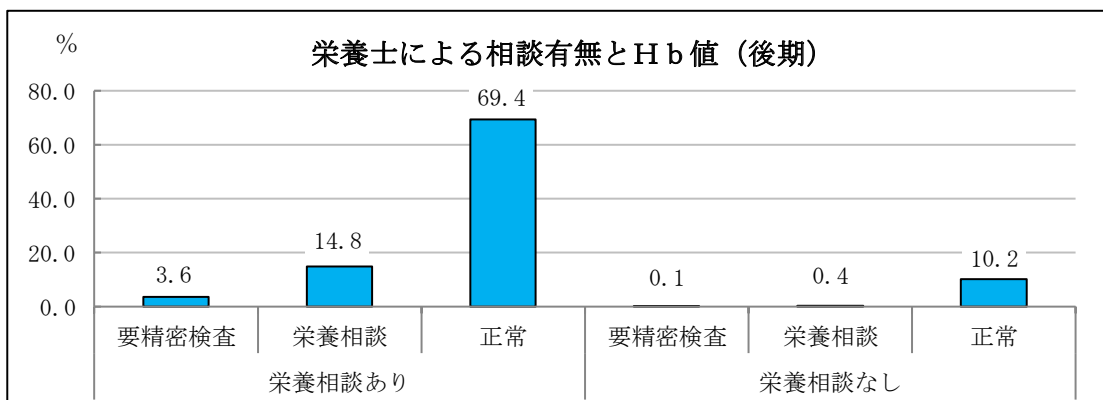
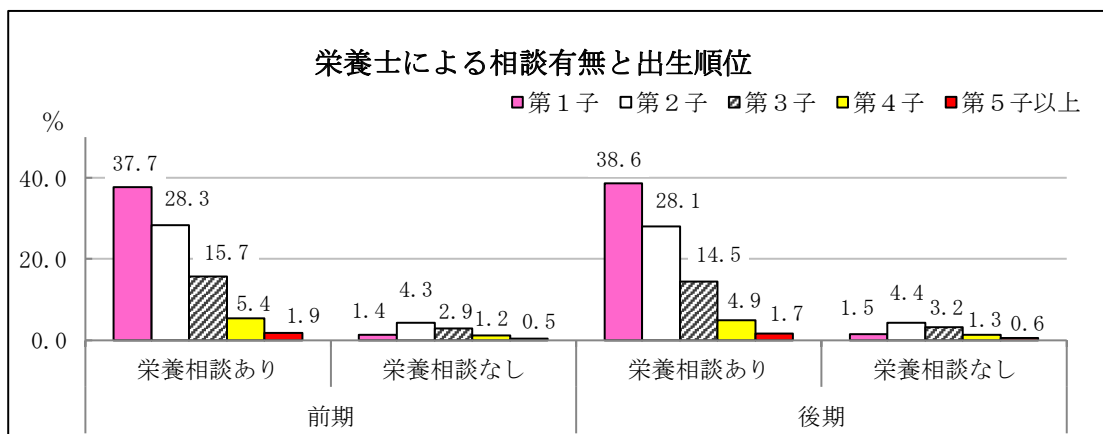
栄養士の相談対応有無とその児のHb値について集計したものである。

受診月齢	受診者数	栄養相談あり			栄養相談なし			貧血検査 未実施
		要精密検査 9.9以下	栄養相談 10.0~ 10.9	正常 11.0以上	要精密検査 9.9以下	栄養相談 10.0~ 10.9	正常 11.0以上	
後期	14,314	517	2,118	9,936	20	59	1,466	198
%	100.0	3.6	14.8	69.4	0.1	0.4	10.2	1.4

注) 栄養相談の内容に記載があるものを対象とした。

注) 平成28年度より貧血検査は後期(7か月~11か月児)のみ実施。

(参照) 統計資料 No. 17

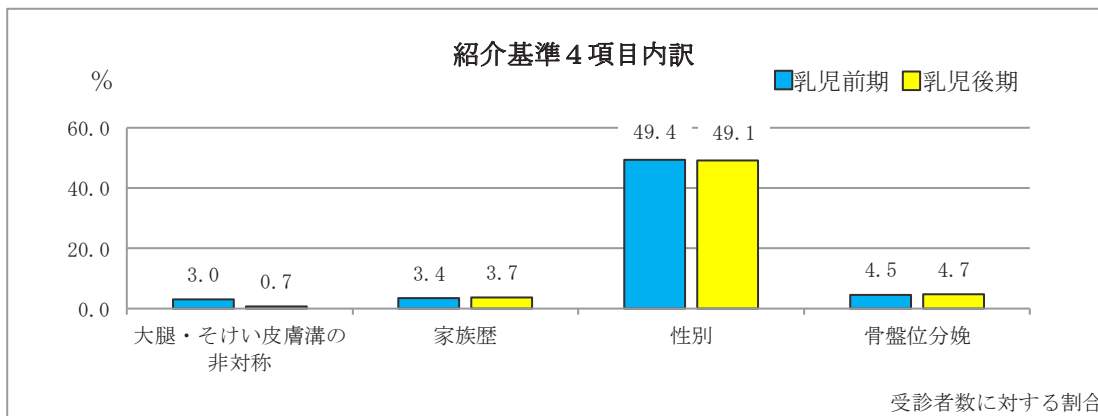
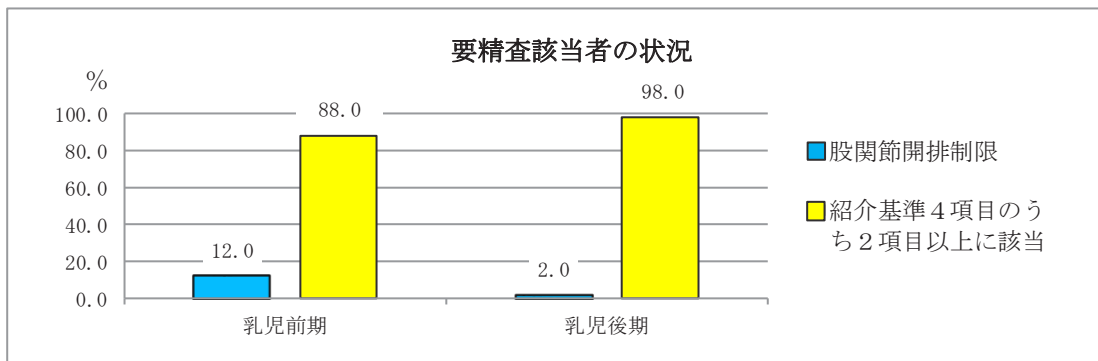


ワンポイント



○乳児の股関節開排制限紹介基準による要精査状況

	受診者数	要精査 該当者数	股関節開排制限				紹介基準 4項目の うち2項目 以上に該当	
			開排制限	開排制限 及び 2項目以上 に該当	開排制限 及び 1項目に 該当	不明		
前期	14,278	967	116	32	22	57	5	851
	%	100.0	12.0	-	-	-	-	88.0
後期	14,314	717	14	2	3	9	-	703
	%	100.0	2.0	-	-	-	-	98.0



○乳児の股関節開排制限紹介基準による要精査該当者に対する医師の総合判定

	要精査 該当者数	要精査	要経観	治療中	観察中	問題なし
前期	967	769	2	1	14	181
%	100.0	79.5	0.2	0.1	1.4	18.7
後期	717	218	1	1	14	483
%	100.0	30.4	0.1	0.1	2.0	67.4

○乳児の股関節開排制限に係る要精査者の状況

	要精査 該当者数	要精査 (紹介基準で発行)	基準を満たさないが1 項目に該当	その他の 所見
前期	799	769	27	3
%	100.0	96.2	3.4	0.4
後期	239	218	20	1
%	100.0	91.2	8.4	0.4

(参照) 統計資料 No. 9~10